

非常通報装置

White Lock 100 New

取扱説明書



製品をお使いになる前に、本書をお読みください

はじめに（必ずお読み下さい）

この度は、「WhiteLock100New」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品は、外部からの入力信号に応じて一般電話回線や携帯電話機から携帯電話機、PHS電話機、一般電話機、クイックキャスト（旧名称ポケットベル）などに音声やメッセージで自動通報する装置です。

製品は一般回線用（WhiteLock100AN）と、携帯電話機用（WhiteLock100DN）の2つのタイプがあります。

この説明書は両タイプ兼用で作成されておりますので、必要に応じて44ページからの「タイプ別に異なる部分」の説明をご覧ください。

本製品は、ご購入直後の状態ではそのまま使用することができません。

設定ソフトウェアをパソコンにインストールし、設定を行う必要があります。設定ソフトは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

また、音声通報する場合は録音も行ってください。

設定後は本書の説明にしたがって動作確認をしてからお使いください。

本書では、一般回線用（WhiteLock100AN）を「WL100AN」、
携帯電話機用（WhiteLock100DN）を「WL100DN」と記述しているところがあります。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。

この説明書はお読みになった後も、本製品のそばなどいつも手元においてお使いください。

製品バージョンの確認

製品タイプの区別は、本体の蓋を開けて内部にあるCPUのラベルにてご確認ください。

製品のバージョンアップは有償にて承っておりますので、弊社までお問い合わせ下さいませ。

「White Lock 100AN」に接続できない回線

極性反転機能の無いPBX（構内電話交換機）、TAではご使用になれません。

「White Lock 100DN」に接続できないデジタル携帯電話機の機種について

※2001年7月現在、利用できない携帯電話機は、SONY、京セラ製、NECの一部の機種です。

※また、プリペイド式携帯電話機にも対応していませんのでご注意ください。

※携帯電話機に付属しているACアダプター（バッテリーではありません）の出力電圧がDC5.0V～5.7V以外の表記があるものは、接続した「WL100DN」から正しく充電できない場合があります。

製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。

製品ホームページ <http://www.adocon.co.jp/>

- *本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- *本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

特 徴

- ・用途に応じた2タイプ

携帯電話機から通報する「WL100DN」と一般回線から通報する「WL100AN」があります。
2つのタイプは、使用する回線の種類が異なるだけで、その他の仕様はほとんど同じです。
「WL100AN」は、PBX交換機の内線間の通報や外線へ接続するときの発信機能を装備しています。

- ・入力毎に10録音された内容で自動通報

圧縮無し直接録音方式で音質良好。録音は何度でも可能、録音内容は半永久的に保持。

- ・最大6カ所までの通報が可能

「WL100DN」は最大6カ所、「WL100AN」は2カ所までの通報先の指定が可能です。

- ・通報終了の条件も指定可能

「全カ所通報」または、「通報先のどれか1カ所に通報」から選択できます。

- ・クイックキャストへの通報も可能

英数カナ文字で通報。

- ・「WL100DN」では携帯電話機への繰り返し自動充電機能付き

長期にわたってメンテナンスフリーで使えます。

- ・停電保証3時間以上を確保、停電保障電池付き

006P型ニッケル水素充電電池を標準添付。

- ・停電・復電通報を標準装備

外部から停電信号を接続したりする必要がありません。設定ソフトにチェックを入れるだけで有効となります。

- ・小型で制御盤内への組込容易

サイズはたばこ2個分とちょっと、軽くてコンパクトです。

- ・設定用パソコンソフト（Windows 95、98(SE)、Me、NT4.0、2000、XP用）

ワープロソフトなどと比べてインストールも設定もすごく簡単です。
製品には、通信ケーブルも標準添付しています。

- ・入力信号の選択が可能

入力がONになったときに通報するか、OFFになったときに通報するか入力毎に個別に設定が可能。設定ソフトにチェックを入れるだけで切り替えできます。

- ・低価格

他社の半分以下の超低価格。もう通報装置にお金をかける必要はありません。

目 次

ご使用の前に	7
略称、商標について	7
制限事項	7
安全にお使いいただくために必ずお守りください	8
設置場所について	8
お願い	8
パッケージ内容の確認	9
各部の名称とその機能	10
本体外観	10
本体内部	11
呼出の種類と通話料金	12
通常の呼出	12
全解除呼出設定	12
個別解除呼出	12
停電時発信	13
通報時に使用するタイマー	13
WhiteLock100AN の場合	13
WhiteLock100DN の場合	13
1 回の通報にかかる通話料金	14
複数の通報先を設定するとき	15
通報を終了する条件	15
通報を終了するまでに発生したイベント	16
注意事項	16
動作設定	17
録音再生	17
設定に使用するパソコン	20
設定ソフトのインストール	21
設定ソフトウェアの起動	24
「WL100AN」 の設定画面	25
「WL100AN」 固有の設定内容	26
○ 通報先の種類と電話番号（通報先 1、2 共通）	26
○ 通報先の電話番号	26
○ 電話回線の種類	26
○ ゼロ発信を行う	26
「WL100DN」 の設定画面	27
「WL100DN」 固有の設定内容	28
○ 通報先の数	28
○ 通報先の種類	28
「WL100AN」、「WL100DN」 共通の設定内容	29
通報を終了する条件	29
解除呼出の方法	29
停電や復電時に発信	29

入力信号の接点仕様.....	29
クイックキャストの仕様.....	29
クイックキャストのメッセージを入力します.....	30
通信ポートの確認.....	31
設定内容の転送.....	31
設定内容の保存と読み込み.....	34
動作確認.....	36
設置方法.....	37
設置場所を決める.....	37
接続工事.....	37
本体側の電話回線.....	37
入力端子接続.....	37
オプション電源.....	37
ACアダプタの接続.....	38
運転の開始.....	38
通報の受信.....	39
受信装置.....	39
音声通報を電話機で受信したとき.....	39
クイックキャストを受信装置に指定した場合.....	39
「全ての入力信号が解除になったときに解除通報を行います」に設定したとき.....	39
識別コード部の表示について.....	39
メッセージ部の表示について.....	40
クイックキャストを受信装置に指定した場合のご注意.....	41
動作モニター.....	42
表示モニターランプ.....	42
通報の状態から見たとき.....	42
ランプの点灯状態から見たとき.....	42
停電保証について.....	43
停電保障充電電池.....	43
タイプ別に異なる部分.....	44
携帯タイプ「WL100DN」.....	44
携帯電話機の設定.....	44
携帯電話機の接続.....	44
通報の手順.....	45
携帯電話機への充電.....	46
使用上の注意事項「WL100DN」.....	46
一般回線タイプ「WL100AN」.....	47
他の電話機やFAXなどの回線と併用するとき.....	47
通報の手順.....	48
使用上の注意事項「WL100AN」.....	49
Q&A.....	50
携帯タイプ「WL100DN」.....	50
一般回線タイプ「WL100AN」.....	51
タイプ共通.....	52
クイックキャストを受信装置に利用する場合.....	55

設定ソフト.....	56
こんなときには.....	57
設定ソフトウェアのアンインストール.....	57
本体を清掃するときは.....	58
仕様	59
「White Lock 100 New」 本体.....	59
設定ソフトウェア	60
インターフェイス仕様.....	60
外形図	61
付録	63
受信装置に表示できる文字.....	63
更新履歴	64

ご使用の前に

略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

制限事項

- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外でのご利用は出来ません。
- 本体と接続可能な電話機（回線）は下記の通りです。

「WL100AN」の場合

NTT仕様で2線式のプッシュ回線またはダイヤル回線です。ISDN回線の場合は、ターミナルアダプタ(TA)のアナログポートに接続できますが、TAによっては極性反転機能がないものがございますので動作保証しておりません。

デジタル式携帯電話機、PHS、cdmaOne、ビジネスホン、ホームテレホン、4線式電話機、デジタルPBX、ピンク電話回線、専用線に接続することは出来ません。

NTT仕様のアナログPBX交換機を介して接続する場合に、0(ゼロ)発信を行う設定にすると、0発信を行ってから約1.5秒待ってダイヤルを開始します。0発信以外の外線発信には対応していません。

また、PBX交換機が極性反転機能をもたない回線に接続してご利用になることは出来ません。

「WL100DN」の場合

デジタル式携帯電話機のみに接続できます。デジタル携帯電話機の種類によっては、正常に動作しない機種もありますのでご注意ください。

2001年7月現在、利用できない携帯電話機はSONY、京セラ製、NECの一部の機種です。

また、プリペイド式携帯電話機にも対応していませんのでご注意ください。

携帯電話機に付属しているACアダプターの出力電圧が、DC 5.0V～5.7V以外の表記があるものは、接続した「WL100DN」から正しく充電できない場合があります。

本体の操作について

- 電源スイッチをOFFにした直後にONにすると内部CPUが正しく起動しないことがあります。電源スイッチをOFFにして、再びONにする際にはOFFの後3秒以上待ってONにしてください。
- 電源プラグを差し込む場合は本体の電源スイッチをOFFにした状態で差し込んでください。
- 通報時はスピーカーから再生音が出ません。
- 設定ソフトで設定を行った後は実際に発信させて受信できるか確認して下さい。
- 接点毎に異なる通報先の設定はできません。
- 出荷状態では設定がしてありません。この状態では入力信号が「有り」になっても通報しません。
- 再呼び出し機能については、同一の通報先を複数設定することにより対応しています。

添付品の充電電池について

- 出荷時には完全に充電されておりませんのでご注意ください。商用電源を接続（ACアダプタ）して、72時間経過すれば満充電となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

本商品は以下の注意事項をよくお読みいただき正しくお使いください。
間違った使い方をされますと、感電、火災や機器の故障が発生するおそれがあります。
安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- ・ 本商品を人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性や安全性を必要とされる設備には接続しないでください。また、携帯電話機を利用する際には電波の影響を受けやすい機器などの近くでのご使用はお止めください。
- ・ 本商品は侵入等の防止装置ではありません。本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話の機会を逸したために生じた損害等の純粹経済損害につきましては、弊社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がしたり、過熱や煙が出る場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。
- ・ 本体、及び付属機器を分解しないでください。
- ・ 本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
- ・ 本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。
- ・ ACアダプタは必ず付属のものをご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。

設置場所について

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になったり、おもわぬ火災や故障の原因となる場合があります。

- ・ 急激な温度変化や湿度変化があったり、結露するような場所。
- ・ 直射日光が当たる場所。
- ・ 水気、火気のある場所。
- ・ 粉塵等のほこりの多い場所。
- ・ 不安定な場所や振動がある場所。
- ・ 強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
- ・ 腐食性ガスのある場所。
- ・ 気化した薬品や化学反応をおこす様な場所、空気中に塩分が含まれている場所。

お願い

本体に接続する携帯電話機の設定などは、携帯電話機に付属の説明書をお読みください。
本体やケーブル等は、小児の手の届かない場所に保管、設置してください。
長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守/点検を行ってください。

パッケージ内容の確認

製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。
不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。



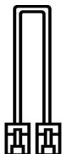
WhiteLock100 本体



通信ケーブル
(1.5m)



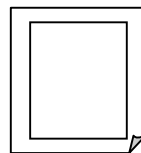
ACアダプター



モジュラーケーブル (3m)
〔「WL100DN」には付属しません〕



バックアップ電池

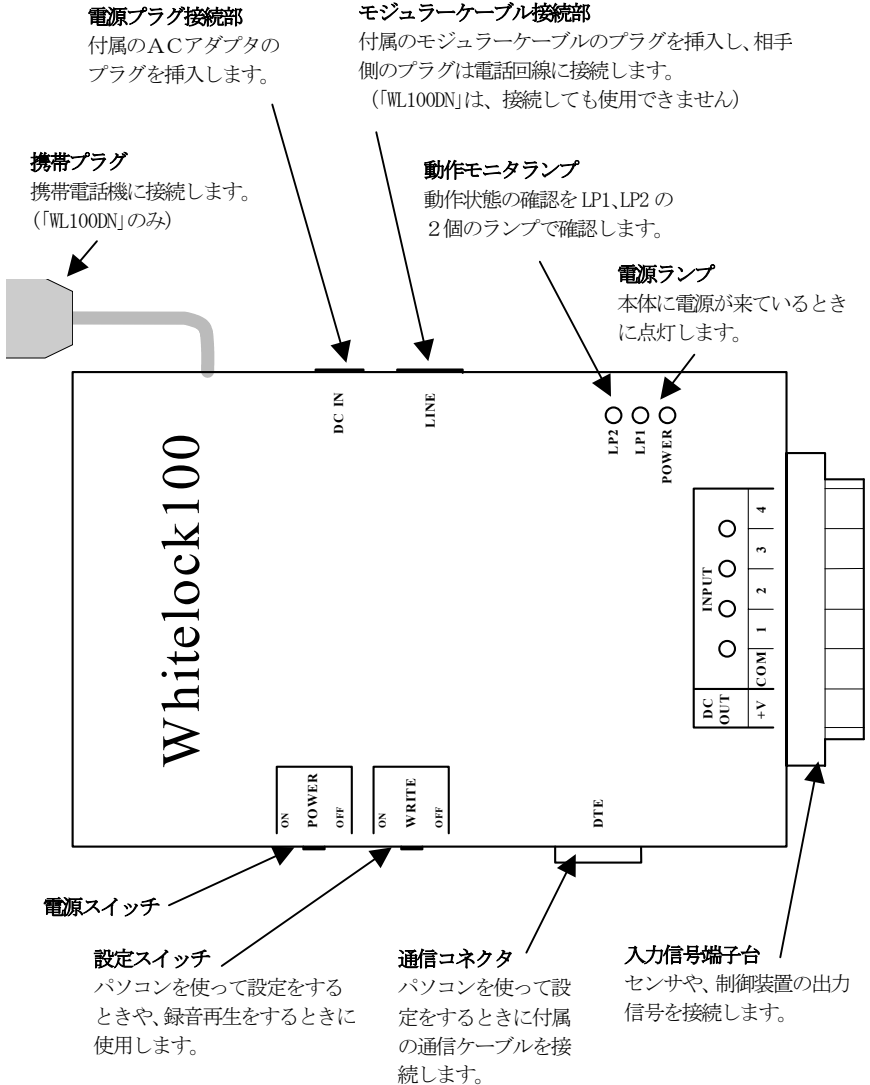


保証書

- * 上図は、実際のものとは多少形状等が異なる場合がありますのでご了承ください。
- * 携帯電話機は本製品に付属していません。
- * 2001年11月1日から取扱説明書、設定用ソフトウェアは本製品には付属していません。
取扱説明書、設定用ソフトウェアは製品のページから最新版をダウンロードしてお使い下さい。
製品サイト <http://www.adocon.co.jp>
取扱説明書（A5版）や、設定用ソフトウェア（FD版）を別途購入して頂くことも可能です。
ご購入の際には販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

各部の名称とその機能

本体外観

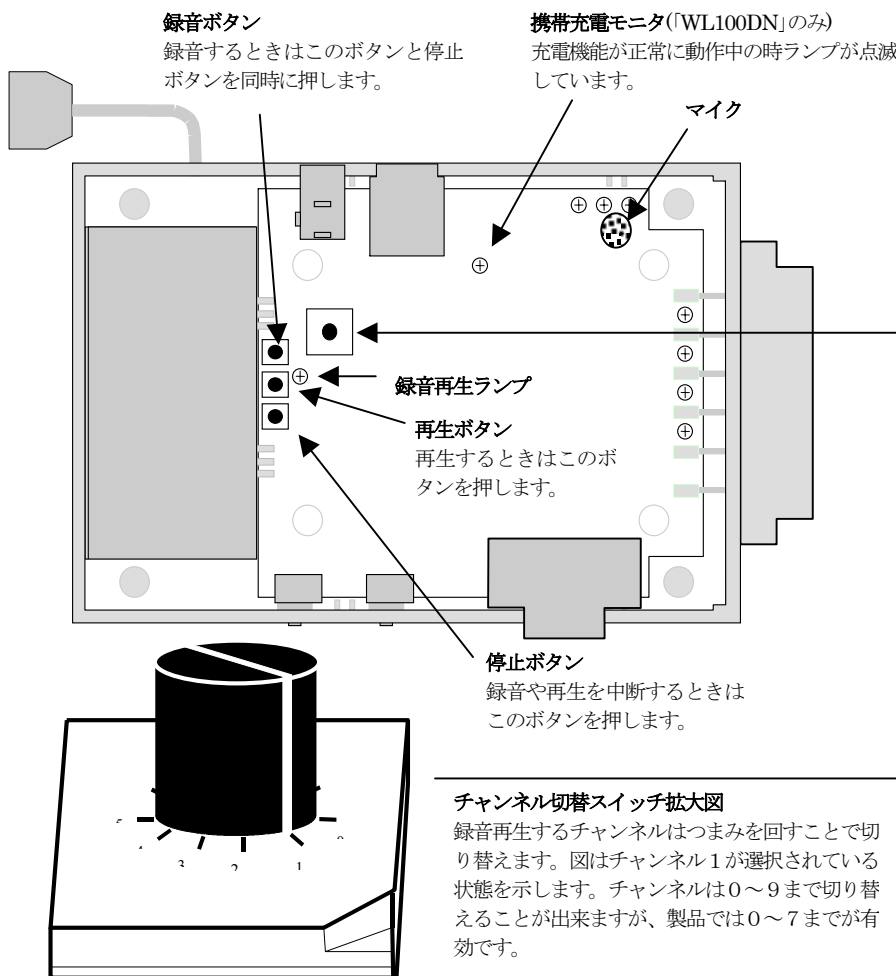


本体内部

プラスドライバーを使用して裏側の4本のビスを外してからケース上面をゆっくりと上へ持ち上げると蓋がはずれます。弁当箱のような形状になっています。

ケース内部には録音・停止・再生の操作ボタンがあります。

録音した内容はめったに変更することがないためと、不用意に録音した内容を消すことがないようにケース内部に取り付けてあります。



つまみの形状は図と異なる場合があります。

チャンネル切替スイッチ拡大図

録音再生するチャンネルはつまみを回すことで切り替えます。図はチャンネル1が選択されている状態を示します。チャンネルは0～9まで切り替えることができますが、製品では0～7までが有効です。

呼出の種類と通話料金

通常の呼出

入力信号が「有り」になったときに通報を行います。

既に通報済みの入力、他の入力が「有り」のときには無視され、変化しても通報しません。全入力が「無し」になった後に「有り」になると通報します。

1. 入力信号 1 「有り」…通報する
2. 入力信号 2 「有り」…通報する
3. 入力信号 1 「無し」…通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
4. 入力信号 1 「有り」…通報しない（既に通報済みであり、入力 2 が「有り」であるため）
5. 入力信号 1 「無し」…通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
6. 入力信号 2 「無し」…通報しない（全解除呼出の設定がしていないとき）

全解除呼出設定

全ての入力信号が「無し」になったときに解除通報を行います。

この機能は、「個別解除呼出」を選択している場合は設定できません。

クイックキャストの場合は、メッセージの後へ「ON」や「OFF」が付加されません。

1. 入力信号 1 「有り」…通報する
2. 入力信号 2 「有り」…通報する
3. 入力信号 1 「無し」…通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
4. 入力信号 1 「有り」…通報しない（既に通報済みであり、入力 2 が「有り」であるため）
5. 入力信号 1 「無し」…通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
6. 入力信号 2 「無し」…通報する（全解除呼出の設定がしてあるから）

個別解除呼出

各入力信号が「無し」になる毎に解除呼出を行います。

クイックキャストのメッセージの後へそれぞれ「ON」や「OFF」が自動的に付加されます。

この機能は、「全解除呼出設定」を選択している場合は設定できません。

この設定をすることで、センサーなどの信号出力が誤報検知を出したとき、すぐに復旧すれば解除呼出によって誤報の確認が出来ることもあります。

個別解除呼出に設定すると、入力変化の度に通報しますから通報頻度が高い場合は通話料が多くなります。入力信号が頻繁に変わるところで設定する場合は注意が必要です。

1. 入力信号 1 「有り」…通報する
2. 入力信号 2 「有り」…通報する
3. 入力信号 1 「無し」…通報する（個別解除呼出の設定がしてあるから）
4. 入力信号 1 「有り」…通報する（個別解除呼出の設定がしてあるから）
5. 入力信号 1 「無し」…通報する（個別解除呼出の設定がしてあるから）
6. 入力信号 2 「無し」…通報する（個別解除呼出の設定がしてあるから）

停電時発信

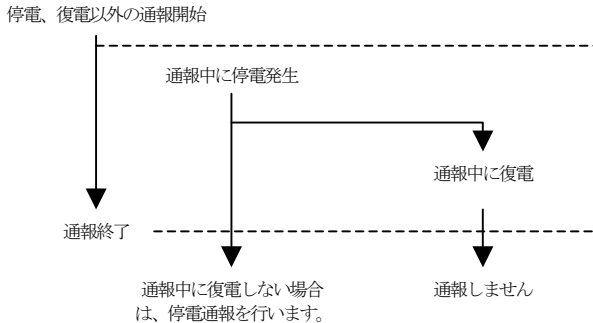
停電や復電があったときに通報します。

「停電や復電時に通報する」を選択した場合は、停電時、復電時ともに通報します。

クイックキャストに通報するとき、停電時は「ディデン」、復電時は「フクデン」となります。

停電通報は「全解除呼出」や「個別解除呼出」とは関係なく、別の呼出として通報します。

また、停電、復電以外を通報している最中に、停電をした後に復電したときは停電や復電の通報は行いません。上記通報を終了してから、復電しないときは停電通報を行います。



通報時に使用するタイマー

WhiteLock100AN の場合

呼出音を鳴らす時間	30秒	通報先の電話機の呼出音を鳴らす時間です。この時間経過したら電話を切って、次の通報先への通報を試みます。
最大通話時間	120秒	電話をとってから切るまでの時間がこの時間以上なら正常に通報できなかったとして、再度通報します。
再ダイヤル待ち時間	10秒	2回目以降に電話をかける場合に待機する待ち時間です。

WhiteLock100DN の場合

最大通話時間	120秒	通報先の電話機の呼出音を鳴らす時間です。この時間経過したら電話を切って、次の通報先への通報を試みます。 通報先の電話機の呼出音が鳴り始めて、電話を切るまでがこの時間以上なら通報できなかったとして、再度通報します。
再ダイヤル待ち時間	10秒	2回目以降に電話をかける場合に待機する待ち時間です。

携帯電話の場合は相手の電話が鳴ったか、相手が電話を取ったか、の判定ができません。回線が切れて初めて接続できたかどうかわかります。よって、呼出音を鳴らす時間は設定できません。相手が電話に出なければ120秒間呼び出します。

1回の通報にかかる通話料金

クイックキャストに通報するときは、通話時間が約30秒程度ですから、一般回線、携帯電話とも1回10円程度です。

音声通報の場合は、受信側が受話器を上げている時間によって通話料金が異なります。但し、通報1回当たり最大120秒を過ぎると自動的に電話を切ります。

* この場合、通報が正常に終わっていないものと判断し、リダイヤルします。

複数の通報先を設定するとき

通報を終了する条件

本装置は、通報を開始してから以下の条件により通報を終了します。ご利用になる環境に合わせてお選び下さい。(選択は、設定ソフトウェアで行います)

1. 「全ての通報先に通報できたら終了」を選択したとき

設定した全ての通報先への通報が終了するまで、ダイヤルを続けます。

全ての担当者に異常を知らせる必要がある時や、クイックキャストの文字化けを考慮した再呼出しにご利用下さい。

通報先がいつも話し中や電話が繋がらない場合は、繰り返しダイヤルします。この間、新たに発生した通報は行いませんのでご注意ください。

例：通報先を5カ所に設定したとき

通報先の受信装置の種類

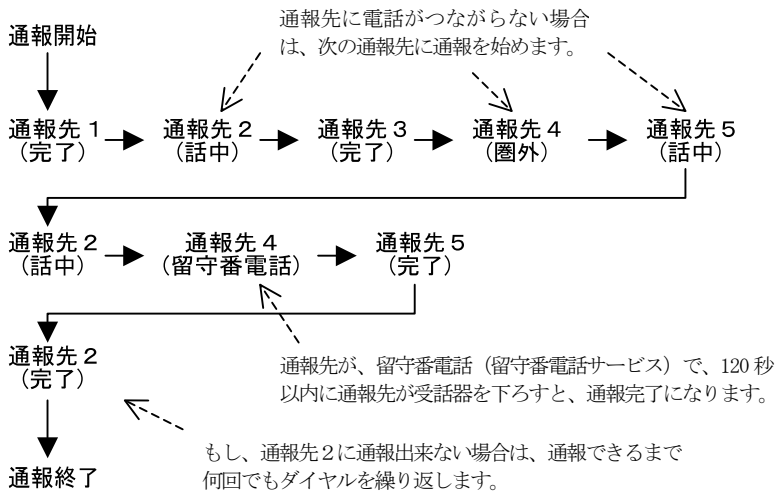
通報先 1 : 電話機

通報先2：電話機

通報先3：クイックキャスト

通報先4：携帯電話機

通報先5：電話機



2. 「通報先のどれか1ヵ所でも通報できたら終了」を選択したとき

設定した通報先の1ヵ所でも通報できると通報を終了します。

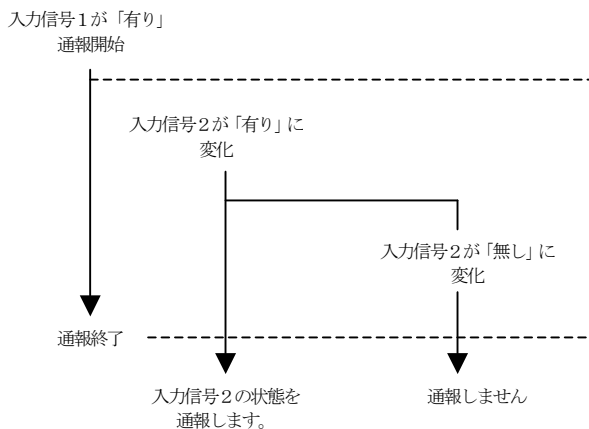
但し、通報先が留守番電話(留守番電話サービスも含む)など自動的に受話器を上げるものは、120秒以内に通話が終了した時点で通報完了としますのでご注意ください。

また、通報先がクイックキャストの場合も同様に通報完了とみなしますのでご注意ください。

通報を終了するまでに発生したイベント

通報中に新たに発生したイベント(通報を行う条件が整った状態)は、先の通報が終了しない限り通報できません。

例：入力信号1が「有り」になった時の動作例



注意事項

- WL100D の場合、通報先の電話番号に0 1 2 0など通話料金のかからない通報先を設定すると正常に通報が終了しません。

動作設定

本装置は、ご利用の前に受信装置の種類や電話番号、メッセージなどを登録しておく必要があります。設定は、「設定ソフトウェア(Windows 95/98(SE)/Me/NT4.0/2000/XP 用)」で行います。

ソフトウェアは、一般回線タイプ「WL100AN」及び携帯電話機タイプ「WL100DN」共通です。

ご自分で設定ができないときは、パソコンを持っている方にお問い合わせるか、弊社に設定をご依頼ください。また、御購入後の変更依頼も承ります。

「WL100DN」は、通報先の電話番号を携帯電話機に登録しますので、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。

通報先がクイックキャストのみの場合は、20 ページの「設定に使用するパソコン」からご覧ください。

録音再生

録音再生の概要

音声録音は8つの録音チャンネルが用意されています。各チャンネルを録音し、通報時はこれらを組み合わせて再生されます。

各チャンネルの録音時間は最大20秒となります。

録音する内容

録音チャンネル0	設置した場所や機械装置などの名前が解るような内容を録音します。 例:「こちらは××です。」「◎◎からのお知らせです」
録音チャンネル1～4	各入力信号1～4に対応した通報内容を録音します。 例:「〇〇の警報が発生しました」、「〇〇の故障が発生しました」、「〇〇がオンになりました」、「〇〇の窓から侵入者がありました」
録音チャンネル5	全入力が解除したときに通報する内容を録音します。 例:「全ての警報は解除しました」、「全ての故障は解除しました」、「全ての信号はオフになりました」
録音チャンネル6	停電が発生した際に通報する内容を録音します。 例:「停電が発生しました」、「外部電源装置が故障しました」
録音チャンネル7	復電したときに通報する内容を録音します。 例:「復電しました」、「外部電源装置が復帰しました」

通報例

入力信号が「有り」になったとき

「こちらは××です。〇〇の警報が発生しました」、「こちらは××です。〇〇の故障が発生しました」、「こちらは××です。〇〇がオンになりました」、「こちらは××です。〇〇の窓から侵入者がありました」

全入力が「無し」になったとき

「こちらは××です。全ての警報は解除しました」、「こちらは××です。全ての故障は解除しました」、「こちらは××です。全ての信号はオフになりました」

動作設定停電が発生したとき

「こちらは××です。停電が発生しました」、「こちらは××です。外部電源装置が故障しました」

復電したとき

「こちらは××です。復電しました」、「こちらは××です。外部電源装置が復帰しました」
録音及び再生の確認をするときは、「設定スイッチ(WRITE)」を ON にしたあとで、「電源スイッチ(POWER)」を ON にします。

録音再生の操作方法

録音は、ケース上部の蓋を開けて行います。11 ページの図をご覧ください。

録音再生モードへの切替は、「設定スイッチ(WRITE)」を ON にしてから「電源スイッチ(POWER)」を ON にします。既に電源スイッチが ON のときは一度 OFF にして、設定スイッチを ON にしてから電源を ON にします。

1. 最初に録音するチャンネルを「チャンネル切替スイッチ」(11 ページをご覧ください)で選択します。
2. 次に録音ボタンと停止ボタンを同時に押します。録音状態になると、録音再生ランプが点灯します。
3. マイクは基板に組み込んでありますから、適当に録音する内容をお話してください。録音再生ランプが点灯してから 20 秒が経過すると自動的にランプが消えて録音が終了します。
4. 任意の位置までで、録音を停止させたいときは停止ボタンを押します。
5. 録音が終わったら再生ボタンを押します。スピーカーから再生されます。途中で録音を停止させた場合はその位置まで再生されます。

慣れてくれば無音の状態が少なくなるように録音できるようになります。音量調整ボリュームはありませんので、録音する音量で調整してください。各チャンネルの説明を読んで適当な内容を録音再生して確認してください。

「WL100DN」で再生を行うときは、携帯電話プラグを携帯電話機から取り外してください。

取り外さない場合は、再生音量が小さくなったりひずんで聞こえたりします。

音声通報を携帯電話で受けた場合、電波の状況によっては音質が悪いことがあります。

スピーカーは本体裏側にあり、再生音量が小さいときは、本体を手で持つか、浮かせた状態で再生してください。

録音するときに大きな声で録音したときは再生音がひずむ場合がありますが、通報された電話機で聞くときはひずむことはありません。また、ケースに取り付けた基板が振動して再生音がひずんで聞こえることがあります。

音量の調整は出来ませんので実際に通報を電話機で聞いてご確認ください。

WRITE スイッチを ON にして POWER を ON にしたときのクリック音について

音声録音再生やパソコンによる設定を行う際に POWER を ON にしたとき、クリック音や短いトーンが聞こえることがありますが、異常ではありません。

*** 録音再生が終了したら、必ず「チャンネル切替スイッチ」を 0 にして下さい。**

設定に使用するパソコン

設定を行う場合、以下の仕様のパソコンが必要です。

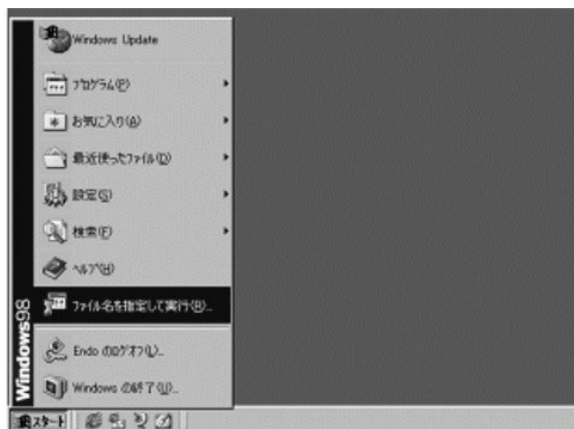
- ・CPU 66MHz i486DX以上 (Pentium 以上を推奨)
- ・OS 日本語 Windows 95、Windows 98(SE)、Windows Me、
Windows NT 4.0(SP5 以降)、Windows 2000(SP1 以降)
Windows XP
- ・ハードディスク インストールに5MB y t e程度の空きエリアが必要
- ・メモリ 実装メモリ16MB y t e以上
- ・モニター 解像度800×600ドット以上が表示可能なカラーディスプレイ
- ・ビデオカード 800×600ドット以上で、256色以上が表示可能なもの
- ・フロッピーディスクドライブ 2HD、1.44MB y t e (フロッピーディスクからのインストール時に必要)
- ・コミュニケーションポート COMポート D-sub 9ピンが必要 (設定内容を転送する時に使用)

- * 既にインストール済みのソフトウェアやハードウェアの設定、その他の状況により、設定ソフトが正常に動作しない場合もあります。
- * パソコンのコネクタがD-sub 25ピンの場合は、D-sub 25ピン → 9ピンの変換コネクタを別途ご準備下さい。
- * 付属している通信ケーブルを本装置と接続するときプラグの固定ネジは絞める必要はありません。また、差し込み時は数ミリしかプラグが入りませんので抜けない様にご注意下さい。
- * 製品サイトからハードディスクなどにダウンロードして、インストールを行う場合は、フロッピーディスクドライブは必要ありません。

設定ソフトのインストール

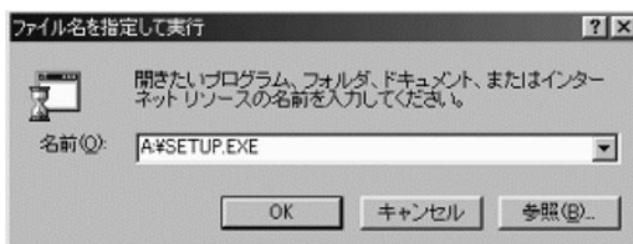
ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。
セットアップファイルをダウンロードした場合は、ダウンロードしたファイルの中から、Setup. exe をダブルクリックして実行して次ページの説明をご覧ください。

フロッピーディスクからインストールする場合は、White Lock 100New 設定ソフト（インストールフロッピーディスク）1/2 をパソコンのフロッピーディスクドライブに挿入して、[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行(R)]を選択します。



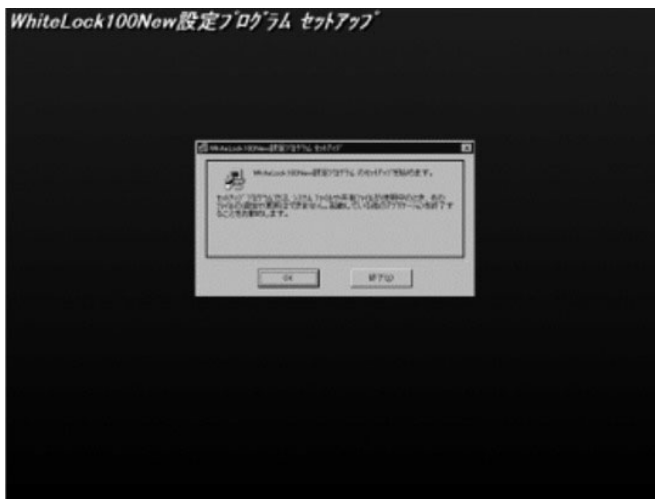
「ファイル名を指定して実行」のウィンドウが表示されたら、名前(O)の右の入力ボックスに A:¥SETUP. EXE と入力して、[OK] ボタンをクリックします。（フロッピーディスクドライブが A : の場合）

*PC-9800 シリーズなどで、フロッピーディスクが C ドライブの場合は、「C:¥SETUP. EXE」と入力して下さい。



[OK]ボタンをクリックしてからしばらくすると次の画面が表示されます。

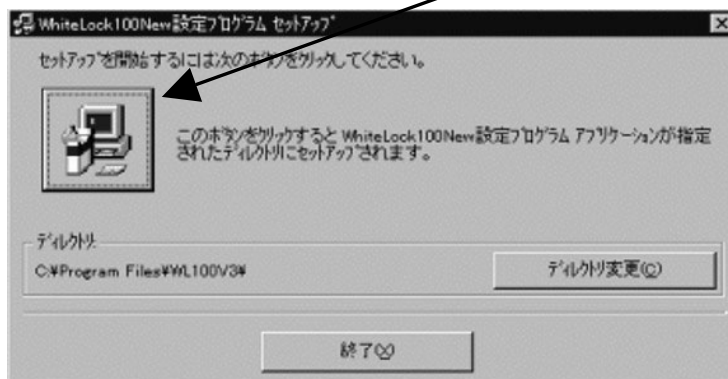
以下のダイアログボックスが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



[OK]ボタンをクリックすると下記の画面が表示されます。

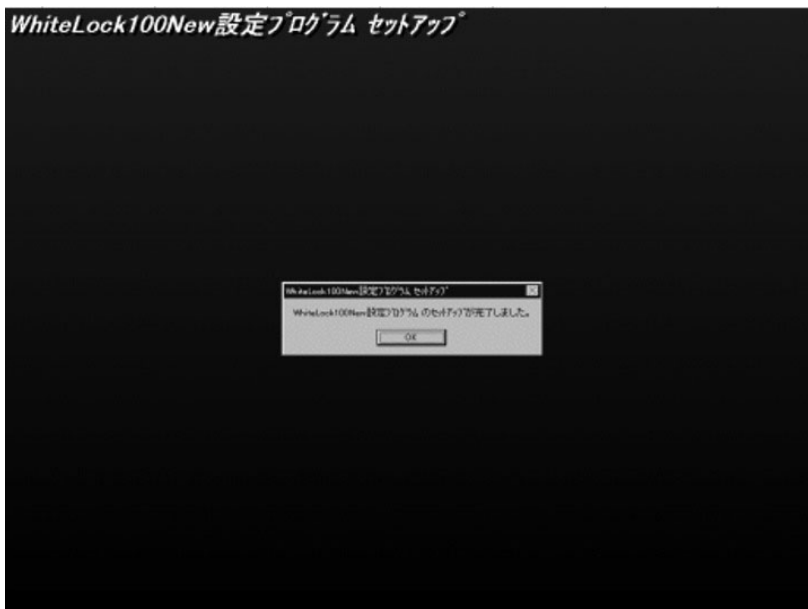
インストール先のディレクトリを変更したい場合は、[ディレクトリ変更(C)] ボタンをクリックして変更します。

設定ソフトウェアをインストールするディレクトリを指定して大きなボタンをクリックします。



インストールを中断しない限り、[終了(X)] ボタンをクリックしないで下さい。
このボタンをクリックすると、インストールせずに終了してしまいます。

以下の画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



[OK]ボタンをクリックしてセットアップが終了したら、**パソコンを再起動**させて下さい。

設定ソフトウェアの起動

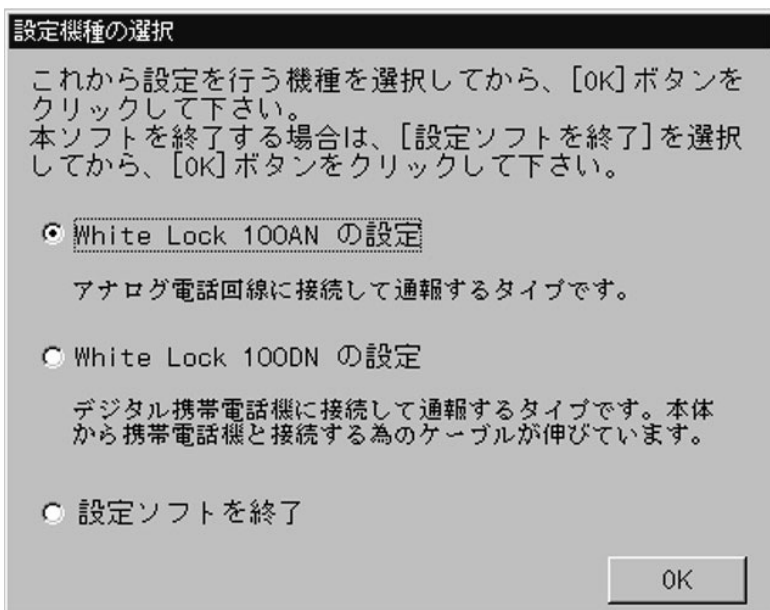
[スタート]メニューから[プログラム(P)]の[WhiteLock100New 設定]を選択して設定ソフトウェアを起動して下さい。

起動すると下記の「設定機種の選択」画面が表示されます。

設定を行う製品を選択してから [OK]ボタンをクリックします。また、誤って設定ソフトウェアを起動した場合は、[設定ソフトを終了]を選択してから、[OK]ボタンをクリックして終了して下さい。

「WL100AN」の設定方法は、次ページからの説明をご覧ください。

「WL100DN」の設定方法は、27 ページからの説明をご覧ください。



「WL100AN」の設定画面

下図は、「WL100AN」の設定画面です。

画面の各設定項目上にマウスポインタを移動させると、項目毎の説明が表示されます。

通報先の電話番号、クイックキャストのメッセージ入力枠の右に、赤い文字でメッセージが表示された場合は、必須の入力項目のときか入力に誤りがある場合です。

「WL100AN」への転送は何回でも行えますので、最初は練習のつもりで色々と変えて転送してみてください。

非常通報装置 White Lock 100ANの設定(アナログ回線タイプ)

ファイル(F) 設定データ転送(R) 通信ポート設定(O) ヘルプ(H)

このプログラムでは、非常通報装置(White Lock 100AN)の動作設定を行います。
 設定の前に、White Lock 100AN 本体、A/Cアダプター、通信ケーブルを準備して下さい。
 設定の手順：1. この画面の設定項目を入力、選択します。
 2. 画面上部のメニューから「通信ポート設定(O)」を選択して通信ポートを決定します。
 3. メニューから「設定データ転送(R)」を選択します。
 注意：各入力ボックスの右横枠内に表示される文字が赤色の場合は、使用できない文字や桁数オーバーの文字です。

使用する通信ポート
COM 1

設定ファイル名:

通報先1の種類と電話番号

☐ 一般電話機、携帯、PHS等(録音した音声で通報)
☐ クイックキャスト(旧名称ポケットベル：文字メッセージで通報)

通報先の電話番号 XXXXXXXX XXXXXXXX

通報先2の種類と電話番号

☐ 一般電話機、携帯、PHS等(録音した音声で通報)
☐ クイックキャスト(旧名称ポケットベル：文字メッセージで通報)
☐ 設定しない(通報先が1ヵ所の場合)

通報先の電話番号 XXXXXXXX XXXXXXXX

電話回線の種類

☐ プッシュ回線
☐ ダイヤル回線

通報を終了する条件

☐ 全ての通報先に通報できたら終了
☐ 通報先の何所か1ヵ所に通報できたら終了

☐ ゼロ発信を行う

解除呼び出しの方法

☐ 全ての入力信号が解除になると解除呼び出しを行います
☐ 各入力信号が解除する度に解除呼び出しを行います
☐ 解除呼び出しを行わない

☐ 停電や復電時に通報する

入力信号の接点仕様

☐ 入力信号1
☒ 入力信号2 チェックを入れる
と入力OFFの
きに通報します
☐ 入力信号3
☒ 入力信号4

クイックキャストの仕様(最大受信文字数)

18 非常通報装置の最
大桁数は、18桁で

クイックキャストのメッセージを入力します。(入力ボックス内は、クイックキャストに表示される文字)

識別コード(桁) 001 001

入力信号1 セグメント1 セグメント1

入力信号2 セグメント2 セグメント2

入力信号3 セグメント3 セグメント3

入力信号4 セグメント4 セグメント4

入力信号1～4のメッ
セージ最大桁数は、「クイ
ックキャストの仕様」と
「解除呼び出しの方法」
から12桁になります。
また自動的に追加される
文字は入力ボックスの右
横枠内に、表示されます。
未入力、エラーの文字
は赤色で表示されます。

「WL100AN」 固有の設定内容

○ 通報先の種類と電話番号（通報先1、2 共通）

通報先をここで指定します。録音した音声で通報する場合は、「一般電話機・携帯・PHS等…」を選択します。クイックキャストへメッセージで通報するときは「クイックキャスト…」を選択します。

通報先1、2 共に「一般電話機・携帯・PHS等…」を選択したときは、「クイックキャストの仕様」や、「クイックキャストのメッセージ」の設定はできません。（設定の必要がありません）2 カ所の通報先を音声通報にしたときは、「クイックキャストのメッセージ」枠に入力済みのメッセージが残りますが、これらは無視されます。

通報先が1 カ所の場合は、通報先2 の設定は、[設定しない]を選択して下さい。

○ 通報先の電話番号

電話番号に、市外局番が必要な時は必ず入力してください。入力の際に、ハイフン（-）は入れないで番号部分のみ入力します。

また、PBX交換機の内線へ通報するときは、内線番号を入力します。

ダイヤル回線を選択しているときは、'#' や '*' は入力出来ません。

○ 電話回線の種類

接続する回線の種類をプッシュ回線または、ダイヤル回線から選択して下さい。

○ ゼロ発信を行う

PBX交換機の内線に接続して外線へ通報するときは、チェックを付けて下さい。

PBXについての注意事項は、7 ページの制限事項で確認下さい。

その他の「通報を終了する条件」、「解除呼出しの方法」、「停電時や復電時に発信」、「信号入力の接点仕様」、「クイックキャストの仕様」、「クイックキャストのメッセージ」は、29 ページからの「WL100AN」、「WL100DN」 共通の設定内容をご覧下さい。

「WL100DN」の設定画面

下図は、「WL100DN」の設定画面です。

画面の各設定項目上にマウスポインタを移動させると、項目毎の説明が表示されます。

クイックキャストのメッセージ入力枠の右に、赤い文字でメッセージが表示された場合は、必須の入力項目のときか入力に誤りがある場合です。

通報を終了する条件やクイックキャストの仕様など設定方法が、「WL100AN」と共通している項目もあります。

非常通報装置 White Lock 100DNの設定(携帯電話接続タイプ)

ファイル(F) 設定データ転送(B) 通信ポート設定(O) ヘルプ(H)

このプログラムでは、非常通報装置(White Lock 100DN)の動作設定を行います。
 設定の前に、White Lock 100DN 本体、A/Cアダプター、通信ケーブルを準備して下さい。
 設定の手順：1. この画面の設定項目を入力、選択します。
 2. 画面上部のメニューから[通信ポート設定(O)]を選択して通信ポートを決定します。
 3. メニューから[設定データ転送(B)]を選択します。
 注意：各入力ボックスの右横枠内に表示される文字が赤色の場合は、使用できない文字が桁数オーバーの文字です。

使用する通信ポート
COM 1

設定ファイル名:

通報先の数: 5 カ所
 上記通報先の数を入力した後、携帯電話機に通報先の電話番号を必ず設定して下さい。

通報先の種類
 電話機: 一般電話機・携帯・FMS等(録音した音声で通報)
 クイックキャスト: カセットで通報。カセットが"V*2*2"で始まる

通報先 1: ☒ 電話機(音声) ☐ クイックキャスト
 通報先 2: ☒ 電話機(音声) ☐ クイックキャスト
 通報先 3: ☒ 電話機(音声) ☐ クイックキャスト
 通報先 4: ☒ 電話機(音声) ☐ クイックキャスト
 通報先 5: ☒ 電話機(音声) ☐ クイックキャスト
 通報先 6: ☒ 電話機(音声) ☐ クイックキャスト

通報を終了する条件
☐ 全ての通報先に通報できたら終了
☒ 通報先の何所かカ所に通報できたら終了

解除呼び出しの方法
☐ 全ての入力信号が解除になると解除呼び出しを行います
☐ 各入力信号が解除する度に解除呼び出しを行います
☒ 解除呼び出しを行わない
☒ 停電や復電時に通報する

入力信号の接続仕様
☐ 入力信号 1
☐ 入力信号 2
☒ 入力信号 3
☒ 入力信号 4
 チェックを入れると入力がないときに通報します

クイックキャストの仕様(最大受信文字数)
 16 非常通報装置の最大桁数は、16桁です

クイックキャストのメッセージを入力します。(入力ボックス右枠内は、クイックキャストに表示される文字)

識別コード(3桁) 002 002

入力信号 1 セグメント1 セグメント1
 入力信号 2 セグメント2 セグメント2
 入力信号 3 セグメント3 セグメント3
 入力信号 4 セグメント4 セグメント4

入力信号 1～4のメッセージ最大桁数は、「クイックキャストの仕様」と【解除呼び出しの方法】から12桁になります。
 また自動的に追加される文字は入力ボックスの右横枠内に、表示されます。
 未入力、エラーの文字は赤色で表示されます。

「WL100DN」固有の設定内容

○ 通報先の数

通報先の数を手1～6カ所の中から選択します。マウスで下矢印部分(▼)をクリックして選択して下さい。通報先の電話番号は、携帯電話機の電話帳メモリ 001～006 に設定します。携帯電話機の種類によっては、電話帳メモリのことを「短縮ダイヤル」と説明しているものもあります。44 ページの「携帯電話機の設定」をご覧ください。上で通報先の電話番号を設定して下さい。



図の下矢印(▼)をクリックすると数値が選択できるようになります。

○ 通報先の種類

録音した音声で通報する場合は、「電話機(音声)」を選択します。クイックキャストへ通報するときは「クイックキャスト」を選択します。

全ての通報先を「電話機(音声)」にしたときは、「クイックキャストの仕様」や、「クイックキャストのメッセージ」の設定はできません。(設定の必要がありません)

また、「クイックキャストのメッセージ」枠に入力済みのメッセージが残りますが、これらは無視されます。

その他の「通報を終了する条件」、「解除呼出しの方法」、「停電時や復電時に発信」、「信号入力の接点仕様」、「クイックキャストの仕様」、「クイックキャストのメッセージ」は、次ページからの「WL100AN」、「WL100DN」共通の設定内容を参考にして設定して下さい。

「WL100AN」、「WL100DN」 共通の設定内容

通報を終了する条件

通報先が1ヵ所の場合は、設定の必要がありません。

詳細説明は15ページの「通報を終了する条件」をお読み下さい。

解除呼出の方法

入力信号が解除（機器の故障やセンサーの信号が「なし」の状態になったとき）されたときに通報する方法を、ここで選択します。呼出方法についての詳細説明は12ページの「呼出の種類と通話料金」をお読みください。

停電や復電時に発信

□内をクリックする毎にチェックが付いたり消えたりします。チェックを付けると停電や復電時に通報するようになります。詳細説明は13ページの「停電時発信」をお読みください。

入力信号の接点仕様

各入力のア接点、b接点を変更します。□内チェックでb接点仕様です。

制御装置やセンサーの出力信号は「通報有り」としたいとき、接点が短絡するものや、解放になるものがあります。通常は「通報有り」のとき短絡信号を出力する場合がありますが、制御装置などでは様々です。

ここでは「通報有り」のときに短絡する信号の場合は□内のチェックをはずし、逆に解放となる場合は□内にチェックを付けます。つまり、チェックを付けたものは短絡された状態が通報しないときとなります。設定後にテストされるときはご注意ください。
ソフトを起動したときはチェック付いていません。

クイックキャストの仕様

利用するクイックキャストの取扱説明書をご覧になって、受信できる文字数をご確認ください。ここではクイックキャストの仕様に図で示す（図では16になっている）数値で受信最大文字数を指定します。



図の下矢印（▼）をクリックすると数値が選択できるようになります。

クイックキャストがメッセージを受信したときに表示される文字は、識別記号3文字+'')'+任意に指定する12文字となります。

識別コードの後には右カッコ')'が自動的に付加されます。

従って識別文字数は4文字となります。

文字数は濁点や半濁点、括弧等も1文字として数えます。設定ソフトウェアでは入力信号毎の最大文字数が12文字（桁）となっていますから識別文字4文字を加えると16文字となります。例えば、受信装置のフリーメッセージの最大文字数が14文字であるとすれば、入力信号毎の最大文字数は、 $14 - 4 = 10$ 文字となります。

受信装置によっては最大文字数を超える文字数を送信した場合に受信を拒否するものもありますので、故障と判断する前に設定する文字数を少なくしてテストしてみてください。

注意：上記桁数の指定で、各入力信号が解除するたびに解除呼出しを行う設定にするとクイックキャストのメッセージの後に空白1文字+‘ON’や‘OFF’のメッセージが追加されます。

よって、個別解除呼出しを行うときは各入力信号毎に設定できるメッセージの桁数が、さらに4桁少なくなります。

例えば、受信装置のフリーメッセージの最大文字数が16文字なら、各入力信号毎の最大文字数は、 $16 - 4 - 4 = 8$ 文字となります。

39ページの「クイックキャストを受信装置に指定した場合」も参考にして下さい。

クイックキャストのメッセージを入力します

入力出来る文字種は、英字、数字、カタカナです。小文字の入力はできません。

小文字を入力しても大文字に変換されます。したがって、クイックキャストに小文字の表示機能があっても表示できません。

各入力項目の横には、クイックキャストに表示される文字をイメージした内容が表示されます。この表示欄に、赤色の文字が表示される時は、桁数オーバー、設定できない文字、または入力が必要としている場合です。

また、自動的に追加される文字は、青色で表示されます。

識別コード

識別コードは、複数の通報装置から通報を受信したとき、相手を特定するために使用するコードです。識別コードは省略できません。必ず3文字の設定が必要です。3文字に満たない場合は空白と見なします。

入力信号1～4

各入力に該当する信号が「有り」になったとき、ここで設定する文字がクイックキャストに表示されます。利用しない入力に該当するメッセージは「ミシヨウ」などと設定しておきます。最低でも1つはメッセージを入力して下さい。

設定画面で入力が完了しましたら、次ページをご覧ください。

通信ポートの確認

設定内容を転送する時に使用する通信ポートを選択します。

メニューから「通信ポート設定(O)」をクリックして、下記ウィンドウを開きます。このとき、使用中の通信ポートがあると赤色でポート名(COM *)が表示され、使用出来ない通信ポートがあれば薄色で表示されて選択出来ない状態になります。

転送に使用する通信ポートをマウスで選択したら、「OK」ボタンをクリックします。



設定内容の転送

設定画面で入力が完了しましたら、メニューから「設定データ転送(R)」を選択して下さい。

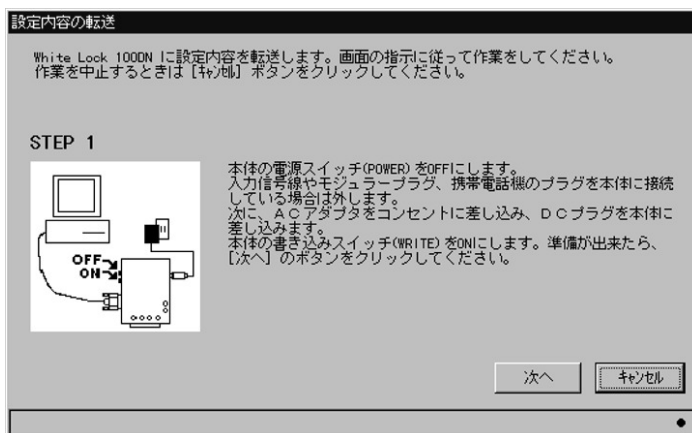
次ページの「設定内容の転送」画面が表示されます。

設定画面で、入力エラーがあったときは下図のようなメッセージが表示され、設定画面上の誤りが見つかった部分にカーソルが移動します。



[OK] ボタンをクリックして、誤りが見つかった所を修正してから再度「設定データ転送(R)」を選択して下さい。

「設定内容の転送」画面では、製品本体に設定画面で入力された設定内容の転送作業を行います。画面に表示される説明に従ってスイッチの操作や通信ケーブルの接続を行います。

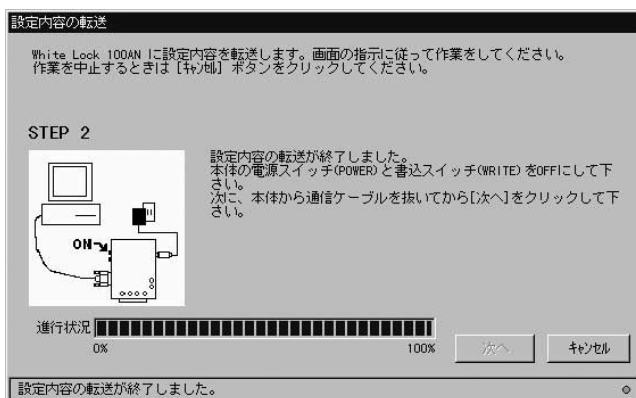


「次へ」のボタンをクリックします。

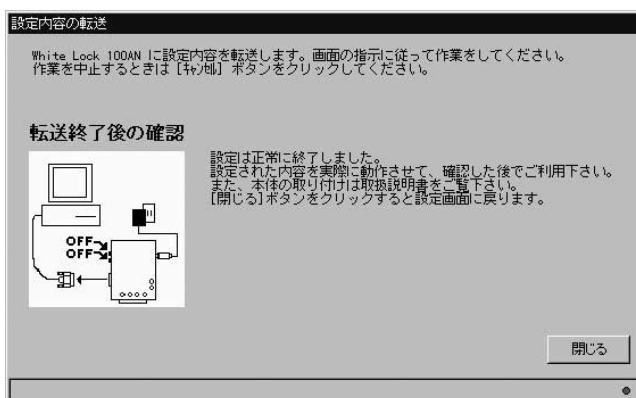
画面の指示に従って操作すると自動的にデータの転送が開始されます。



しばらくして、転送が終わると下図のようになります。



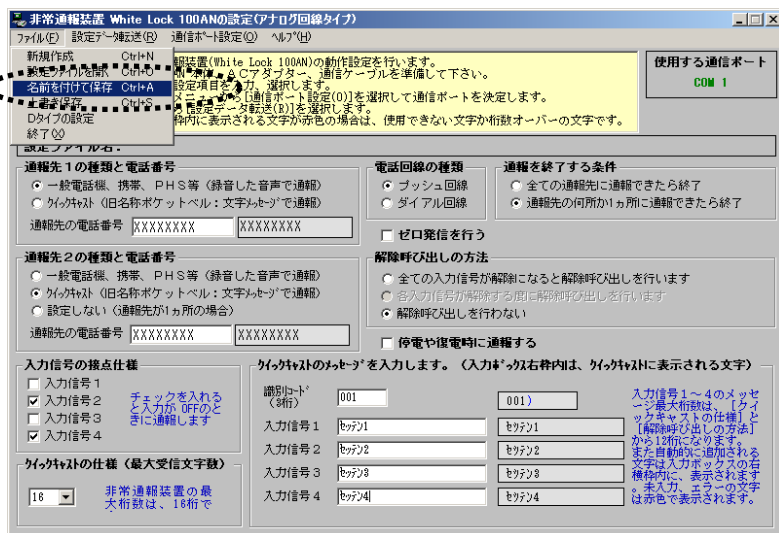
転送が終了し、通信ケーブルのコネクタを抜くと「次へ」のボタンが使えるようになります。「次へ」ボタンをクリックすると最後に確認画面が表示されます。



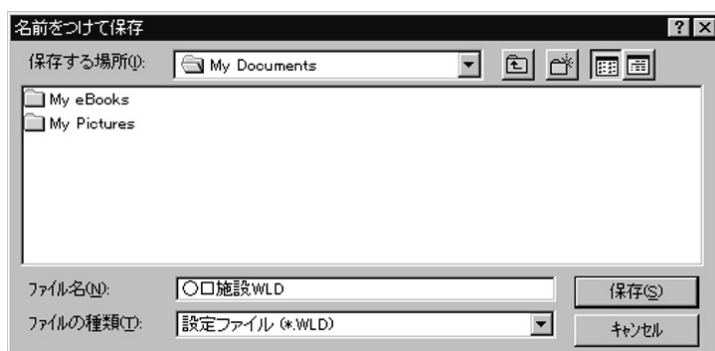
「閉じる」をクリックすると転送作業が終了し、元の画面に戻ります。

設定内容の保存と読み込み

設定された内容を保存する時は、[ファイル(F)] メニューの [名前をつけて保存 Ctrl+A] を選択します。



保存先のフォルダ、ファイル名を指定して[保存(S)] ボタンをクリックします。
保存する設定ファイルは、WLDの拡張子をもつファイルとなります。



既に開かれているファイルに上書き保存する場合は、[ファイル(F)] メニューの [上書き保存 Ctrl+S] を選択します。

保存した設定ファイルを開く場合は、[ファイル(F)] メニューの [設定ファイルを開く Ctrl+O] を選択し、開きたい設定ファイルを選択して [開く(O)] ボタンをクリックします。

設定ソフトウェアを終了するときや既に画面に設定がしてあるときに、保存してある設定ファイルを開こうとすると、現在の設定を保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

この場合は必要に応じて保存してください。

また、「WL100AN」の設定ファイルを「WL100DN」の設定画面で開こうとしたりすると、読み込みエラーのメッセージが表示されます。

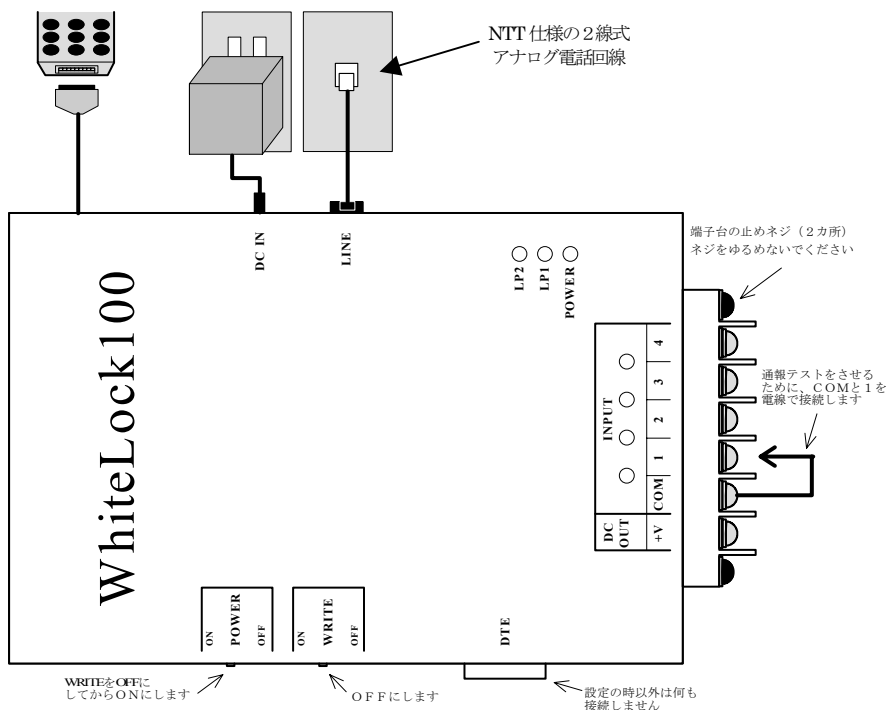
「WL100AN」の設定画面で「WL100DN」の設定ファイルを開くときも同様なメッセージが表示されます。

*本製品では本体から設定内容を読み出すことは出来ませんのでご注意ください。

動作確認

本体の設定が終了したら、設定したように動作するか必ず確認して下さい。

1. 「電源スイッチ(POWER)」を OFF にします。
2. ACアダプターを電源コンセントに差し込み、ACアダプターから出ている電源プラグを本体の「DC IN」に接続します。接続方法は「ACアダプタの接続」38 ページの説明をご覧ください。
3. 製品が「WL100AN」の場合は、付属のモジュラーケーブルで電話回線と本体の LINE を接続します。接続はカチッと音がして完全に差し込まれていることを確認してください。
4. 製品が「WL100DN」の場合は、本体から伸びている携帯プラグを携帯電話機に差し込みます。接続方法は「携帯電話機との接続」44 ページの説明をご覧ください。
5. 「チャンネル切替スイッチ」が 0 になっていることを確認します。
6. 「設定スイッチ(WRITE)」が OFF になっていることを確認してから、「電源スイッチ(POWER)」を ON にします。「設定スイッチ(WRITE)」が ON になっていたら OFF にしてから電源スイッチを ON にします。
7. 各入力信号の端子と、共通端子をリード線等で結線させ、通報が終わってからしばらく待つて、受信装置にメッセージが表示されるか確認して下さい。



設置方法

設置場所を決める

本体を設置する前に、本書の仕様を確認の上、設置場所を決めて下さい。
壁や天井などに取り付ける場合は、自動車用両面テープを使用して下さい。
また、本体と接続されるケーブルが余裕をもって設置出来るような空間を確保して下さい。

接続工事

本体側の電話回線

1. 一般回線用「WL100AN」

NTT仕様の2線式のプッシュ回線及びダイヤル回線。ISDN回線をご利用の場合は、ターミナルアダプタ(TA)のアナログポートに接続します。

他の電話機やFAXの回線と併用(分岐)してお使いになる場合は、市販の分岐アダプタを購入してご利用ください。(本体にはモジュラー端子が1つしかついていません)

2. 携帯電話機用「WL100DN」

NTT DoCoMo、セルラーなどのデジタル携帯電話機(PHSは利用できません)1台を接続します。

入力端子接続

接続に関するご注意

COM(共通端子)は端子の端から2番目になっていますお間違えないように。

接続できる信号は無電圧のものに限ります。商用(AC)100Vや直流電圧がかからないようにしてください。

「DC OUT」端子は、外部に接続するセンサーなどの電源に利用するためのオプション電源出力です。

接続

各信号はCOM(共通端子)と1~4の間に接続します。

信号は無電圧a接点または無電圧b接点の電圧のかかっていないものを接続します。

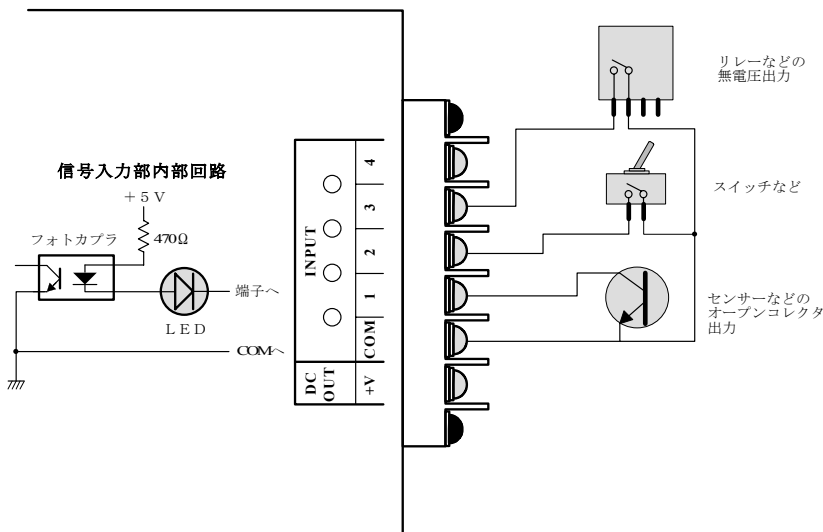
設定ソフトで各入力のア接点、b接点を変更することもできます。

1つの入力に複数の入力を並列に接続して一括故障などとすることもできます。

入力は、700ミリ秒以上の間、継続してON(OFF)の時に入力変化があったとみなし、通報します。

オプション電源

「DC OUT」端子は外部センサーなどの電源に利用するための電源出力です。本体内部のJ2が短絡してある場合は+5V、J3が短絡してある場合はACアダプタの電圧が出力されます。使用できる最大電流は30mAです。J3を短絡してACアダプタの電圧を出力している場合は停電すると電圧が出力されなくなります。J2を短絡してセンサー等でオプション電源を使用している場合、停電時はオプション電源も停電保障充電電池で供給しますから停電保障時間が短くなります。



ACアダプタの接続

アダプタ本体をコンセントに差し込み、アダプタから伸びているコードのプラグを「DC IN」にさし込みます。

「電源ランプ」はACアダプタから電源供給が無いときでも内蔵電池から電気が供給されて、「電源スイッチ(POWER)」ONにすると、点灯します。

制御盤内部のACコンセントを利用する場合、ACコンセントに電気が来ていない事があります。制御盤内部のブレーカーやスイッチでコンセント電源を入り切り出来る場合はご注意ください。

内蔵電池を取り外してから「電源スイッチ(POWER)」をONにしたとき「電源ランプ」が点灯すればコンセントに電気がきています。

運転の開始

「設定スイッチ(WRITE)」について

実際に現場に取り付けて使用するときは、「電源スイッチ(POWER)」をONにしている状態のときに「設定スイッチ(WRITE)」をONにしないでください。(「電源スイッチ(POWER)」をONにしている状態のときは、「設定スイッチ(WRITE)」をOFFのままにしておいてください)

このような操作を行うと、音声での通報の際に正しいメッセージを送れなくなります。一見すると正常動作をしているように見えますが、音声チャンネルがチャンネル1しか使えなくなります。但し、ダイヤルや回線のメンテナンスをする際に一時的に利用するときは、「電源スイッチ(POWER)」をONにした後で「設定スイッチ(WRITE)」をONにします。この場合でもメンテナンスが終わったら「設定スイッチ(WRITE)」をOFFにした後で「電源スイッチ(POWER)」を入れ直してください。

通報の受信

受信装置

ネクスト方式のクイックキャスト及び一般電話機、携帯、PHS

発信する文字はすべてクイックキャストのフリーメッセージ扱いとなります。また、利用できる文字種は、英数字カナのみです。

使用する受信装置の説明書を見て、フリーメッセージを受信できる最大文字数が何文字かを調べてください。

音声通報を電話機で受信したとき

電話のベルが鳴ったら受話器をとります。最初に録音チャンネル0の音声が聞こえ、続いて該当する入力信号に対応する録音内容が聞こえます。受話器を上げている間繰り返します。

「WL100DN」の場合はベルが鳴りはじめてから120秒、「WL100AN」の場合は受話器をとってから120秒を過ぎると、通報装置が電話を切ります。この場合はしばらく待つと再び電話がかかってきます。120秒以内に受話器を下ろせば（受信した側で電話を切る）、通報装置は正しく相手に通報できたと認識して以後通報はしません。

クイックキャストを受信装置に指定した場合

通報が終わると、センターからクイックキャストに信号が送られます。時間帯によっては1分以上かかることもあります。

「全ての入力信号が解除になったときに解除通報を行います」に設定したとき

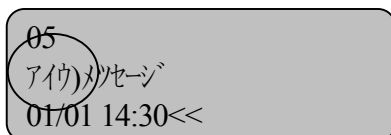
全入力が解除になったとき受信装置に表示されるメッセージは、以下の通りになります。

識別コードが "001" の例 メッセージは、“ALL OFF” の固定メッセージです。



識別コード部の表示について

識別コードの後ろに"アイウ"が自動的に付加されます。これは、識別コードとその後ろに表示されるメッセージを見やすくするためです。 アイウ と入力した場合の例



F 1 と入力した場合の例

05
F1)メッセージ
01/01 14:30<<

メッセージ部の表示について

「全ての入力信号が解除になったときに解除通報を行います」に設定しているときで、

ポンプ1 コショウ と入力した場合の例

05
001ポンプ1コショウ
01/01 14:30<<

「各入力信号が解除するたびに解除呼出を行います」に設定しているときで、信号入力が「有り」の状態となり、設定で ポンプ1 コショウ と入力した場合の例

05
001ポンプ1コショウ ON
01/01 14:30<<

「各入力信号が解除するたびに解除呼出を行います」に設定しているときで、信号入力が「無し」の状態となり、設定で ポンプ1 コショウ と入力した場合の例

05
001ポンプ1コショウ OFF
01/01 14:30<<

クイックキャストを受信装置に指定した場合のご注意

設定ソフトウェアで、「各入力信号が解除するたびに解除呼出を行います」を選択された場合にメッセージが受信できないことがあります。

理由は、設定されたメッセージの後へ「OFF」等が自動付加されたために文字数がオーバーしたためです。このようなときは設定するときの文字数を減らしてみてください。

文字数がオーバーしていることが原因かどうか確認するときは下記のようにしてください。

WRITE スイッチを **OFF** にして **POWER** スイッチを **ON** にします。

次に **WRITE** スイッチを **ON** にします。この状態で入力信号を警報有り(**ON**)にします。

スピーカーからダイヤルトーンが聞こえ、クイックキャストセンターのアナウンスが聞こえます。

最後のアナウンスが「文字数がオーバーしました・・・」となるときは文字数オーバーが原因です。

確認が終わったら **WRITE** スイッチを **OFF** にしておいてください。

動作モニター

表示モニターランプ

通報の状態から見たとき

- 電話を接続中
「LP1（黄色）」点灯（受話器を上げたときから受話器を下ろすまでの間）
- 話し中であったとき
「LP1（黄色）」高速点滅（3秒間）。このあと3項に進む
- 再ダイヤル待機中
「LP1（黄色）」低速点滅（再ダイヤルを開始するまで）。待機時間終了で1項へ進む
- 相手が電話に出なかったとき
「LP2（赤色）」高速点滅（3秒間）。このあとで「LP1（黄色）」が消灯する
- 使われていない番号にかけたとき、または電波の状態が悪くて正しくダイヤル出来なかったとき
発信開始で「LP1（黄色）」が点灯し、しばらく待つと、「LP1（黄色）」と「LP2（赤色）」が両方とも高速点滅（3秒間）。その後「LP1（黄色）」、「LP2（赤色）」は消灯し、3項へ進む（相手先番号の確認が必要）
- 発信先（相手）が受話器を取ってから通話後に受話器を下ろして通報が終わったとき
「LP1（黄色）」は消灯し、「LP2（赤色）」が一定時間高速点滅します。その後「LP2（赤色）」は消灯します。
- 携帯プラグやモジュラープラグが携帯電話機や電話回線に接続されていないとき
発信時に「LP1（黄色）」が点灯しダイヤルを開始します。「LP1（黄色）」のランプは点灯したままの状態となります。
- 設定モードのとき
「LP1（黄色）」、「LP2（赤色）」とも点灯

ランプの点灯状態から見たとき

LP1（黄色）	LP2（赤色）	通報の状態
消灯	消灯	電話が切れている。通報は全て完了している。入力信号待ちの状態
点灯	消灯	電話をかけているとき
低速点滅	消灯	再ダイヤル待機中
高速点滅	消灯	話し中の時
消灯	点灯	
点灯	点灯	設定モードのとき
消灯	高速点滅	相手が受話器を取って通報が終わった後の6秒間の間
点灯	高速点滅	一定時間待っても相手が電話に出なくて通報装置が電話を切った後の3秒間の間
高速点滅	高速点滅	使われていない番号にかけたとき、または電波の状態が悪くて正しくダイヤル出来なかったとき

停電保証について

充電式電池が新品の場合で、完全充電されている状態では3時間以上動作し続けます。但し発信する回数により増減します。

停電保証時間は入力端子が全てOFFの時の時間です。入力がONでLEDが点灯していると、その分電力を消費しますので、保証時間は短くなります。

停電保障充電電池

製品に内蔵されております電池は、ニッケル水素充電電池です。

内蔵電池の充電はACアダプタが正しく接続され、商用電源が供給されているときは「電源スイッチ(POWER)」がOFFでも充電しています。充電はトリクル充電方式により、過充電にならない程度に弱い充電を常時行っております。電気代はわずかですが、長期間にわたって通報装置として使用されないときはACアダプタをコンセントから抜いておかれることをお勧めします。

手動で、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にして、停電保証が必要な時間内に電源ランプが暗くなるようでしたら交換が必要です。

ACアダプタから電源を供給せずに「電源スイッチ(POWER)」をONにしてお使いになるような場合や、停電が長引いて電池の電圧が完全になくなったときは、完全充電までに72時間以上かかることがあります。

電池の交換をするときは、ケース裏面の電池蓋をスライドさせて蓋をはずしてください。電池は、ニッケル水素充電電池 006P型、9V仕様 または ニッカド充電電池の006P型、8.4V仕様のもが使用できます。電池はホームセンターなどで入手できます。ニッカド充電電池をご使用の場合、停電保障時間が短くなります。

標準のACアダプタでWL100DNをお使いの場合は、必ず充電電池を本体にセットして動作させてください。充電電池がセットされていないと、携帯電話機によっては充電時に「カチカチ」音がして本体がリセットしてしまう場合があります。

タイプ別に異なる部分

携帯タイプ「WL100DN」

携帯電話機の設定

通報先の電話番号は、携帯電話機で設定します。

携帯電話機は内部の I C メモリ（記憶用部品）に電話帳が組み込まれています。本機は、電話帳に登録された特定のメモリ番号の電話番号に電話します。通報先がクイックキャストの場合にはクイックキャストの番号、その他の場合には相手先の電話番号を登録します。

1. 暗証番号またはロックコードを初期値（購入時の状態または設定されていないときの状態）例えば、「0000」などに変更して下さい。（このとき登録済みの番号を控えておいてください）
携帯電話機の機種によってはこの設定が不要場合があります。確認方法は動作確認後にこの設定を任意のものへ変更して正常に発信動作すれば初期値に設定する必要はありません。
2. 電話帳（メモリダイヤルまたは短縮ダイヤル）の変更をします。
「WL100DN」は、電話帳のメモリ「001」～「006」番に登録されている番号へ発信します。既にこのメモリに登録があるときは登録済み内容を他のメモリに移動してください。ここではテストのために近くにある電話機の番号（他の携帯やPHSでも良い）を登録します。登録したら内容を再表示させて登録できているか再確認してください。
電話番号は、必ず市外局番から入力して下さい。
3. 暗証番号またはロックコードの設定方法や、電話番号の設定方法は各携帯電話機の説明書をお読みください。
4. 携帯電話機のバッテリー消費を抑える為、以下の設定をしてください。「省電力モード」にする。着信音時に音を鳴らさない、バイブレータの設定で振動させないにする。留守番電話機能は無効にする。

携帯電話機の接続

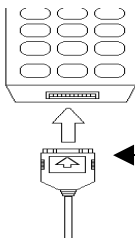
本体から伸びている携帯プラグを携帯電話機のジャックに接続します。

コネクタは、「カチッ」と音がしてロックされるように差し込みます。

コネクタを外す場合はプラグ横のロックボタンをつまみながら引き抜いてください。

コネクタが接続されると、携帯電話機の電源がONになります。（既に携帯電話機の電源がONになっている場合は、ONのままです。）

携帯電話機の電源をOFFにしてからコネクタを接続すれば、コネクタの接続と同時に携帯電話機の電源がONになるのでケーブルの接続確認が出来ます。



携帯電話機の機種によって、コネクタを差し込む上下面は異なります。

通報の手順

ここでは、「WL100DN」がどのように仕事をしているか、手順を説明します。

- 入力信号 ON
- 受話器を取る
- 「LP1（黄色）」点灯
- ダイヤルを開始する
- 相手のベルが鳴るまで待つ（制限時間最大 15 秒）
 - △制限時間になった（待ったけどベルが鳴らない）
 - 「LP1（黄色）」、「LP2（赤色）」を 3 秒間高速点滅 → <リダイヤル>へ
 - △話し中 → 「LP1（黄色）」 3 秒間高速点滅 → <リダイヤル>へ
- 相手のベルが鳴った。（ここからは、設定された通報先により異なります）

<クイックキャスト呼出の場合>

- 「こちらはNTT ドコモです」のアナウンスが始まるまで待つ（15 秒）
- メッセージを送る
- 「電話を切ってお待ちください」のアナウンスが始まるまで待つ（15 秒）
- 受話器を下ろす
- 下記の情報が得られるまで待つ（制限時間最大 120 秒）
 - △通話が正常に完了した
 - 「LP1（黄色）」消灯 → 「LP2（赤色）」高速点滅 6 秒間 → <通報終了確認>へ
 - △制限時間オーバー（通話ができなかった）
 - 「LP2（赤色）」高速点滅 3 秒間 → <リダイヤル>へ

<音声通報の場合>

- 最大 120 秒間相手が電話に出るまでベルを鳴らし続ける
- 相手が電話を取り、内容を聞いてから受話器を下ろしたか調べる
 - △相手が電話を切った
 - 「LP1（黄色）」消灯 → 「LP2（赤色）」高速点滅 6 秒間 → <通報終了確認>へ
 - △制限時間オーバー（最大通話時間になった）
 - ベルを鳴らし始めてから 120 秒経過するか、相手が受話器を上げても 120 秒以内に受話器を下ろさないと電話を切る
 - <リダイヤル> へ。

<リダイヤル>

- 受話器を下ろす
- 「LP1（黄色）」消灯
- 「LP1（黄色）」低速点滅しながら再ダイヤルまで待つ（10 秒）
- 通報未完了が 2 カ所以上の場合は、次の通報先の電話番号をセットして <受話器を取る> へ
- 通報未完了が 1 カ所の場合は、通報先はそのまま <受話器を取る> へ

＜通報終了確認＞

- 通報終了条件（詳細説明は15ページ）により、通報を完了していない通報先がある場合は、その通報先の電話番号をセットして＜ダイヤルを開始する＞へ
- 通報をする通報先がない場合は、通報終了

携帯電話機への充電

ACアダプタから電源が供給されている場合に、定期的に充電します。

本体の電源をオンにすると充電状態（100分間）となります。一定時間（およそ24時間）毎に充電を繰り返し行います。2000年12月31日以前に出荷された製品については、充電終了後から次回充電までの間隔がおおよそ48時間に設定されています。

参考：携帯電話機のバッテリーは最大充電回数500回程度のものが多く使われています。

高度な自動充電回路を接続してもこの回数を越えることはできません。

従って本装置では最も単純で確実な定期充電方式を採用しております。

携帯電話機は、携帯の電池を取り外した状態では使用できないようになっています。

「WL100DN」に携帯電話機を接続した状態では携帯の電池が寿命となっても引き続き利用できる場合がありますが、電源プラグを抜いたときに携帯電話機の電源が切れたり、電源が入らなくなったときは携帯電話機の電池を新しいものに交換してください。

携帯電話に充電中は「WL100DN」本体が暖かくなりますが、故障ではありません。充電はおおよそ100分で終了します。

停電保証電池に充電がされていない、携帯電話のバッテリーが少ない状態で携帯電話への充電を始めた場合、携帯電話機の機種によっては本体からカチカチ音がしてリセットを繰り返す場合があります。運用を始める前に停電保証電池を充電し、携帯電話機も充電してお使いください。

また、運用中に携帯電話機のバッテリーがなくなる場合、通報の方法を工夫してバッテリーがなくなるしない使い方をしてください。

使用上の注意事項「WL100DN」

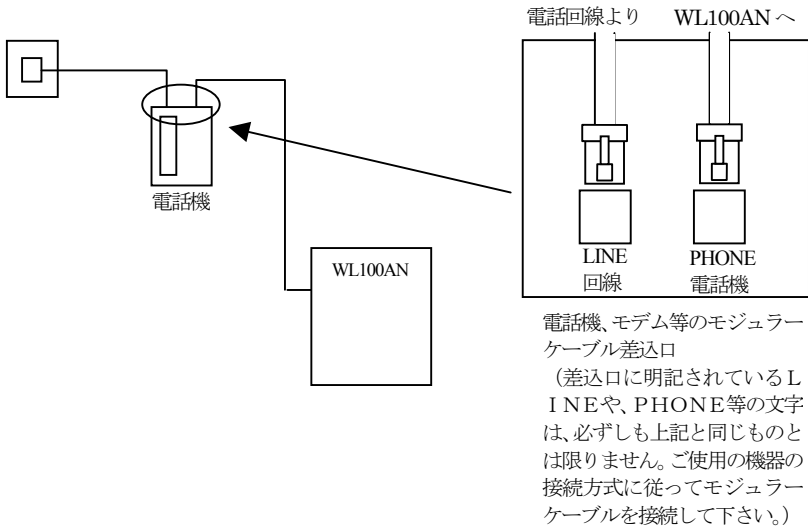
通報中に携帯電話機のボタン操作をしたり、携帯のプラグを抜き取った場合は誤動作します。

一般回線タイプ「WL100AN」

他の電話機やFAXなどの回線と併用するとき

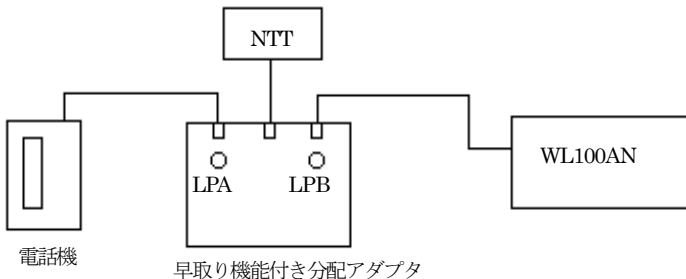
本製品を既設の電話機やモデムの回線と併用するときは、終端に接続されるか、モジュージャックを分配するアダプタをご使用下さい。

以下は、「WL100AN」を電話回線の終端に接続する場合です。



電話回線からきているモジュラーケーブルを分配出来ない場合でも、モジュージャック分配用のアダプタを使用することにより、他の機器に電話回線を分配することが出来ます。

ただし、単純な分配用アダプタを使用した場合、通報中に電話機の受話器を上げた時に通報内容やプッシュトーンが聞こえたり、逆に混信によって通報が正しく行われなくなる可能性があります。このようなことを防止する為、アダプタは早取り機能（先に電話回線を使用している機器以外の機器が電話回線を使用することを禁止する機能）を持ったタイプを使用して下さい（ホームセンターなどで販売しています）。



通報の手順

ここでは「WL100AN」がどのように仕事をしているか、手順を説明します。

- 入力信号 ON
- 受話器を取る
- 「LP1（黄色）」点灯
- ダイヤルを開始する
- 相手が電話に出るまで待つ（制限時間最大 3 0 秒）
 - △制限時間になった（待ったけど電話に出ない）
 - 「LP1（黄色）」、「LP2（赤色）」を 3 秒間高速点滅 → **<リダイヤル>**へ
 - △相手が電話に出た（ここからは、設定された通報先により異なります）

<クイックキャスト呼出の場合>

- 「こちらはNTT ドコモです」のアナウンスが始まるまで待つ（5 秒）
- メッセージを送る
- 「電話を切ってお待ちください」のアナウンスが始まるまで待つ（7 秒）
- 受話器を下ろす
- 通話が正常に完了した
 - 「LP1（黄色）」消灯 → 「LP2（赤色）」高速点滅 5 秒間 → **<通報終了確認>**へ

<音声通報の場合>

- 下記の情報が得られるまで待つ（最大 1 2 0 秒）
 - △相手が電話を切ったか調べる
 - 相手が電話を切った
 - 「LP1（黄色）」消灯 → 「LP2（赤色）」高速点滅 5 秒間
 - **<通報終了確認>**へ
 - 制限時間オーバー（最大通話時間になった）
 - **<リダイヤル>**へ

<リダイヤル>

- 受話器を下ろす
- 「LP1（黄色）」消灯
- 「LP1（黄色）」低速点滅しながら再ダイヤルまで待つ（1 0 秒）
- 時間が来たら最初に戻って **<受話器を取る>**へ

<通報終了確認>

- 通報終了条件（詳細説明は15ページ）により、通報を完了していない通報先がある場合は、その通報先の電話番号をセットして **<受話器を取る>**へ
- 通報をする通報先がなくなった場合は、通報終了

使用上の注意事項「WL100AN」

ダイヤルを開始してから３０秒間は、相手が話し中であっても確認できません。
疑似交換機などでテストされる場合に、交換機が極性反転しないものでは正常動作しません。

Q & A

携帯タイプ「WL100DN」

Q. 携帯電話機の電源を切ることが出来ないのですが。

A. 携帯プラグを抜いてから電源を切る操作をしてください。

Q. 本体が通報中に電話を切るにはどうしたら良いのですか？ 本体の電源をOFFにしても電話が切れないのですが。

A. 携帯電話機の電話を切るボタンを押してください。これで電話が切れますが、本体の電源をOFFにしないと、リダイヤルしますから本体の電源もOFFにしてください。

Q. 携帯の電源をOFFにしたままで携帯プラグを差し込むと携帯の電源が勝手にONになりますが大丈夫でしょうか？

A. 故障ではありません。携帯を接続したのにONにすることを忘れないようにこのようになっていきます。接続前に携帯の電源がONになっていたときはONのままとなりますが、携帯の電源がOFFになっているときに携帯プラグを差し込むと携帯の電源がONになります。

Q. 携帯電話機の充電ランプが点滅するのですが。

A. 異常ではありません。携帯電話の機種によっては、充電電圧が低い状態の時にこのようになるものがあります。本装置は充電の間は充電に必要な規定の電圧が携帯にかかりますが、充電完了後も低い電圧が出力されています。このときに携帯の充電ランプが点滅することがあります。

Q. 電源を入れてしばらくすると本体から「カチカチ」と音がします。

A. 電池が少なくなっています。ACアダプタを挿してご利用ください。また、ACアダプタを挿しても「カチカチ」と音がする場合は、停電保証充電電池が少なくなっていて、携帯電話のバッテリーも少なくなっている場合です。携帯電話のバッテリーが無くなるほどリダイヤルや通報をする場合、運用の方法を工夫してください。

Q. 本体にモジュラージャックが付いていますが、使えますか？

A. ご利用になれません。付いているだけです。

Q. 本体の電源をONにすると必ず携帯の充電が始まるのですが。

A. 正常です。本装置は、本体の電源をONにしたとき、充電から監視するように作られているからです。

Q. 録音した音声で通報を受信したときの音質は本体のスピーカーで再生したときと比べて音質が悪いのですが。

A. デジタル携帯電話機の音質が悪いからです。本装置の問題ではありません。

Q. PHS を装置に取り付けることができますか？

A. できません。

Q. 受信装置にPHSが使えますか？

A. 音声通報の設定をすれば利用可能です。

Q. クイックキャストの他に文字メッセージで通報出来る物がありますか？

A. ありません。現在のところ文字メッセージはクイックキャストのみです。

Q. F211i で電話がかかりません。

A. 通報先の電話番号は「短縮グループ」の1～6番に登録してください。

Q. 携帯電話機は付属品ですか？

A. 付属しておりません。別途ご準備ください

Q. 携帯電話機の電源が切れてしまいました。

A. 携帯電話機のバッテリーが無くなったと思われます。本装置は電源投入時と以後24時間経過する度に携帯電話機に充電を行います。しかし、通報先が電話に出ない場合、電話に出るまで電話をかけ直し続けます。これにより、バッテリーを消費してしまいます。また、携帯電話機に電話がかかってきたりメールが届いたりすると携帯電話のバッテリーを消費します。着信の設定で、「着信音無し」、パイプレータの設定で「振動させない」にしてください。また、携帯電話の設定で「省電力モード」にしてください。

Q. 携帯電話機の電池パックが最後まで無くなった場合。

A. 携帯電話機の電池パックが最後まで無くなった場合、本体からの充電は出来なくなります。携帯電話に付属の標準の充電ACアダプターで携帯電話を充電してください。携帯電話の電池が無くなるのは通報先が電話に出ない為、リダイヤルを繰り返し電池が無くなったと思われます。通報先を工夫してリダイヤルを繰り返すことが無いように使用してください。

Q. WL100DN 本体の消費電流を教えてください。

A. DC 入力端子にDC9.0Vを引加したとき、待機時および通信時50mA～70mA。携帯充電時 600mA～750mA です。

Q. DC12V、16A のバッテリーで使用した場合、どれくらいの期間使用できますか？

A. テストはしていませんが、1ヶ月くらいは動作します。

Q. F505i で電話がかかりません。

A. 同じメモリ番号001でも電話番号が3つ登録できますが、一番最初の欄に電話番号を登録してください。2番目、3番目に登録しても電話はかかりません。

一般回線タイプ「WL100AN」

Q. 電話が繋がらない。

A. 設定ソフトで選択した電話回線と実際にご利用になる電話回線にお間違いが無いか確認して下さい。また、ビジネスホン、ホームテレホン、4線式電話機、デジタルPBXは接続することは出来ません。アナログPBX交換機を介した接続についての注意は、7ページの「制限事項」をご覧ください。

Q. 装置は I SDN回線を使用できますか？

A. 「WhiteLock100AN」 一般回線タイプは、I SDN回線に直接接続することは出来ません。ターミナルアダプターのアナログポートをお使い下さい。

Q. 内線発信に対応していますか？

A. アナログ PBX で使用される場合、交換機に極性反転機能があるかどうか確認してください。ホームテレフォン、ビジネスフォン、デジタル PBX では使用できません。

Q. ゼロ発信のチェックを付けると通報先 1 を外線、通報先に 2 を内線にできますか？

A. できません。両方とも内線か、両方とも外線で使用してください。

Q. WL100AN を交換機に繋いで内線 PHS へ通報させている。電話はかかるが、音声流れず、その後何度も電話がかかってくる。

A. 反転機能が無いと考えられます。WL100AN の本体を開けて、モジュージャックの後ろに見える 2 本の線の電圧を測ってください。通報先が電話に出ると電圧が反転するはずですが、プラスならマイナスに、マイナスならプラスになるはずですので、調べてください。

Q. 通報先に設定できる電話番号の桁数は？

A. 11 桁までです。

タイプ共通

Q. 音声録音された内容をスピーカーでモニターしたとき、前より音質が悪くなりました。

A. 携帯プラグが携帯電話機に接続されていると再生時の音質が悪くなります。また、AC アダプタを使わず、内蔵電池のみで使った場合に電池の残り電圧が不足していると音質が悪くなります。

Q. 通報を受けたとき、入力信号のどれが ON になっても同じメッセージが聞こえるのですが。

A. メッセージ録音時に、録音チャンネル 0 だけで録音していませんか。本説明書の「動作設定」「録音再生」をご覧になり設定方法を確認して下さい。

Q. 一般回線用と携帯電話機用の兼用タイプの製品がありますか？

A. ありません。初期の設計段階では切替仕様でしたが、コストダウンのためにやむなく別々となりました。

Q. 音声録音再生はどのようにして行うのですか？

A. 録音、停、再生の各ボタンと録音再生中を示すランプがあつて、普通のテープレコーダーのように使います。

Q. 音質に問題はありますか？

A. テープレコーダー並の音質で問題はありません。

Q. マイクやスピーカーは付属していますか？

A. はい、ケース内部に組み込まれています。

Q. 保証はありますか？

A. はい、ご購入後1年間です。

Q. 取り付けは素人でも出来ますか？

A. 侵入通報の用途で、ドアセンサーなどを接続する場合は簡単に取付できます。制御盤などに取り付けるときは、電気工事業者にご相談ください。

Q. 装置を取り付けるところに電話が引けないのですが。

A. 一般回線が引けない場所や回線の工事費用がかかるようなときには、「WhiteLock100DN」 携帯電話機タイプをご利用ください。最近では新たに電話回線を新設する場合に比べ携帯電話機の初期費用が安くなっています。また、通報装置では頻繁に発信することが少ないので電話料金も気になりません。問題は基本料金ですが、業務用の一般回線と比較しても携帯電話の基本料金が安くなっています。(セルラーの2台目の契約の例)

Q. 装置を取り付けるところに電源が無いのですが。

A. 別売りのプラグ付き電源ケーブルと、充電された自動車用バッテリーを使うことで長期間の連続利用が可能です。停電保障充電電池だけで動作させた場合は、3時間程度ご利用になれますが、携帯電話機への自動充電機能は動作しません。

Q. 装置を取り付けるところではクイックキャストや携帯電話が圏外となるのですが。

A. 「WhiteLock100DN」 携帯電話機タイプは携帯電話が圏外の場所ではご利用になれません。受信装置にクイックキャストをご利用になる場合は、取付場所がクイックキャストの圏外であつても本体は取り付けできます。但し受信の確認は圏内でなければなりません。「WhiteLock100AN」一般回線タイプは、取り付ける場所が圏外でも電話回線との接続が可能な場所であれば問題ありません。

Q. 装置の寿命は、どれくらいですか？

A. 故障するケースで最も多いと考えられるのは電話回線や電源からカミナリが入る場合ですが、これはモデム通信装置などでも同様です。防止策としては回線用避雷器や電源避雷器の市販品を組み込むことで改善されます。「WL100DN」 携帯電話機タイプは、「WL100AN」 一般回線タイプとくらべてカミナリの影響は受けにくいと言えます。「WL100AN」は内部の部品に機械的な接点を使用していないので、長寿命です。「WL100DN」は約10年です。

Q. 業務用に使った場合に問題はありますか？

A. まったく問題ありません。

Q. 1回の通信に要する時間や通話料はいくらがかかりますか？

A. クイックキャストを呼び出す場合は、1回の通信時間が2.0秒以下ですから、何れのタイプでも1回の呼び出しで約10円です。音声通報では、電話を受けた人が受話器を上げていた時間によって異なります。但しこの場合でも一定時間が経過すると自動で電話を切りますので無駄な電話代はかからないように工夫されています。

Q. どの位の大きさですか？

A. ケーブルや突起部分を除いて、縦135 x 横90 x 厚み35 (mm) です。

Q. 設置後 WhiteLock100New が動作しているのを確かめたいのですが？

- A. 「WhiteLock100DN」 携帯電話機タイプは、電話をかけると動作していることを音で確認できます。「WhiteLock100AN」 一般回線タイプは確認できません。

Q. 屋外に設置したいのですが。

- A. 製品は、防水暴雨仕様ではありません。水滴や、雨、粉塵等に晒される場所では適当なケースに組み込んでください。

Q. 誤動作などで電話代が多く請求されるようなことはありませんか？

- A. 1. 電話の仕組みとして相手が電話に出なければ当然電話代はかかりません。
2. 電話を受けた側が電話を切ればその時点から電話代はかかりません。
3. クイックキャストに電話をかけたときには一定時間が経過するとサービス会社の側から電話を切りますのでそれ以上電話代はかかりません。

上の2番目の場合に受話器を正しく戻さなかったときでも一定時間が経過すると電話を切るようになっています。いずれの場合であっても誤動作によって電話代が多くなることはありません。安心してご利用ください。

Q. 付属の充電機はどれくらいの期間使用できますか？

- A. 2年以上使用できます。もし、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にして、停電保証が必要な時間内に電源ランプが暗くなるようでしたら交換が必要です。

Q. 最呼び出しの回数が無制限なのは、なぜですか？

- A. 確実に通報するためです。途中で止めては通報装置ではない、という考えだからです。

Q. 留守番電話で通報を受けると何度も通報してきます。

- A. 留守番電話の録音時間が120秒以上になっていませんか？本装置は通報時に通話時間が120秒以上になると異常と判断しもう一度通報します。留守番電話の録音時間を短くすれば正常に通報が終わります。携帯電話の留守番電話サービスでは録音時間が変更できませんので、何度もかかってくる場合は留守番電話の機能は使用しないで下さい。

Q. 停電通報だけ電話がかかりません。

- A. 停電保障充電機の充電が不十分な為、ACアダプターを抜くとランプは点灯しても電話をかけることができません。出荷時には付属の停電保障充電機には充電が十分されていませんので、本体を72時間通電させてください。停電保証充電地の充電が行われます。そのあとで停電通報させてみてください。

Q. 停電通報はありましたが、復電通報が12時間も遅れてきました。なぜでしょうか？

- A. 通報先が複数あり、「全ての通報箇所に通報できたら終了」にしてあり、停電発生時の通報が終了していなかったのではないのでしょうか。「全ての通報箇所に通報できたら終了」にしてある場合、1箇所でも通報が終わらなければ永遠に通報しようと電話をかけ続けます。停電発生時の通報が終了できないため、復電しても復電通報が来ないということになります。「全ての通報箇所に通報できたら終了」の設定をする場合は、通報先には電話を受けられる番号だけを登録してください。夜は電源を切ってしまう携帯電話などを通報先に設定していると、この様なことがおこります。

Q. 以前購入した時と、今回購入した時と付属のACアダプターが違うのですが。

A. 製造中止や、その他の理由により付属品が変わる場合があります。

Q. DCアダプタ「DC-ADV01」を使うと停電保障充電電池に充電できません。

A. はい、できません。24Vを9Vに変換するアダプターを作れば可能です。

Q. DC出力出来るようですが何Vの出力が出せるのでしょうか？

A. 端子台のオプション電源出力のことでしょうか？電圧は内部基板のジャンパで選択し、ACアダプタの直接出力電圧は安定化してありません。または5.0V安定化の2つが選択できます。標準では5.0Vとなっています。取り出せる電流は30mA程度として下さい。

Q. 通報先が転送電話でも通報できますか？

A. 転送電話の仕組みによります。直接転送先の電話の呼出音が鳴るような転送電話の場合は正常に通報できますが、いったんアナウンスが流れてから転送先を呼び出し直すような転送電話の場合は、アナウンスが流れた時点で通報したと判断してしまい、正常に通報できません。

クイックキャストを受信装置に利用する場合

Q. メッセージ表示ができない古いタイプのポケットベルで使えますか？

A. 音を鳴らすことは出来ませんが、どの機器からのメッセージか確認出来ませんので事実上ご利用できないと思います。

Q. クイックキャストを受信装置に使った場合で、2台以上のポケットベルで受信することが出来ますか？

A. 装置で指定できる電話番号は1つですが、クイックキャスト会社のオプションで、1つの番号を複数のクイックキャストに設定するサービスを使えば同時に複数のクイックキャストを呼び出すことができます。

Q. カナ表示のできない数字表示のみのクイックキャストは使用できますか？

A. 数字表示しかできないタイプのクイックキャストには対応しておりません。

Q. 漢字表示ができますか？

A. 現在のところご利用出来ません。

Q. クイックキャストのメッセージが文字化けするのですが。

A. 受信装置がメッセージを受信したとき、なんらかの電波ノイズが混入したときに起きる可能性があります。

「WL100DN」の場合、電波の状態が悪いために電話が途中で切れたときは、文字が表示されず、着信音が鳴るだけでメッセージが表示されないことがあります。

このような現象が頻繁に起きる場合は、2カ所の通報先に同一のクイックキャスト番号を設定して、2度呼出しを行うことで回避できる場合もあります。

Q. メッセージを設定する場合は受信装置に付属しているコード表のコードを入力するのですか？

A. メッセージはカナ文字を直接入力します。書き込み時にソフトウェアが自動変換してくれます。

Q. メッセージの最後の' ## 'も設定するのですか？

A. 入力する必要はありません。自動的に付加されます。

設定ソフト

Q. Windows98 で使用できますか。

A. Windows95/98/Me/NT4. 0/2000/XP で動作します。

Q. Windows2000 でフロッピーディスクからインストールできません。

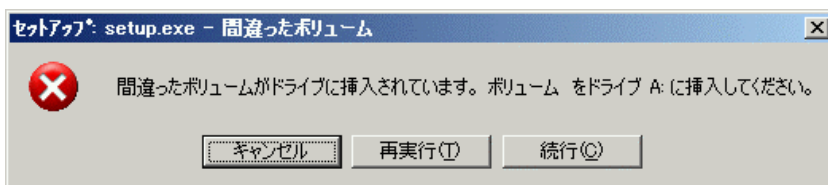
A. Windows2000 に限らず、環境変数「TMP」「TEMP」に全角文字が含まれるフォルダが設定してある場合、フロッピーディスクからのインストールができません。

【対策1】2枚のフロッピーディスクから4つ全てのファイルをハードディスク上の同一フォルダにコピーします。例えば「C:¥TMP」に全てのファイルをコピーしてからコピーした「setup.exe」を実行してください。

【対策2】環境変数を変更して全角文字が無いフォルダに変更する。

Q. WindowsXP でフロッピーディスクからインストールする場合。

A. 以下のメッセージが表示されますが、[続行]を選択してください。



こんなときには

設定ソフトウェアのアンインストール

[スタート]メニューの、[設定(S)] から [コントロールパネル(C)]を選択して「コントロールパネル」を開きます。



コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



削除したいプログラム(WhiteLock100New 設定プログラム)を選択して、[追加と削除(R)...] ボタンをクリックして画面の指示に従います。



本体を清掃するときは

本体のよごれは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。
ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、有害なガスが発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

仕様

「White Lock 100 New」 本体

形式	音声及びDTMF呼出方式非常通報装置
適用回線	「WL100DN」：デジタル携帯電話 「WL100AN」：NTT仕様のアナログ電話回線(2線式、極性反転機能が必要)
回線接続方式	通信コネクタ (モジュージャック)
選択信号種別	プッシュボタン (PB) または、ダイヤルパルス (DP:20PPS)
信号入力点数	4点及び停電復電 (内部設定) 1点 (フォトカプラ取込)
自動発信	入力変化
クイックキャスト発信	可 (英数カナでメッセージを送出)
話し中検知機能	あり (話し中及び通信が確立しないときにリダイヤル)
音声録音方式	圧縮無し直接録音方式
音声録音時間	8チャンネル装備。1チャンネル20秒、合計160秒
音声メモリバックアップ	不要 (フラッシュメモリー)
録音再生方法	マイク及びスピーカーを装備。録音・停止・再生ボタンによる
停電保証	内蔵電池により、3時間以上
携帯電話機充電機能	あり、繰り返し充電方式(「WL100DN」のみ)
制御CPU	14ビット 2個、8ビット 1個。合計3個のマルチCPU
外部インターフェース	シリアル9ピン(EIA-574)
電源	ACアダプタ AC100V 50/60Hz 5W
動作温度	0℃～40℃
動作湿度	15%～80% (結露なきこと)
周囲環境	腐食性ガスなきこと。 粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。
呼出電話番号設定	「WL100AN」：最大2カ所 「WL100DN」：最大6カ所 (電話番号は携帯電話に設定)
停電保障充電電池	006P DC9V、ニッケル水素充電電池
寸法 (mm)	90(W)×135(H)×35(D) プラグ及びケーブル部分を除く
重量	重量 約 400g 携帯電話機を除く、電池込みの本体重量
動作電圧	9.5V～10.0V
消費電流	WL100AN：60mA (最大120mA) WL100DN：100mA (最大550mA)

設定ソフトウェア

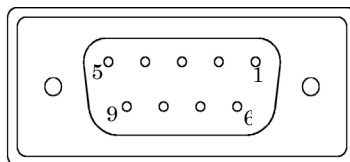
型式	White Lock 100 New 設定ソフトウェア
動作環境	Windows 95、Windows 98(SE)、Windows Me、 Windows 2000(SP1以降) 日本語のみ対応 メモリ 16M以上 ディスク空き容量 5M以上

インターフェイス仕様

コネクタの形状は、9ピン仕様の EIA-574 です。

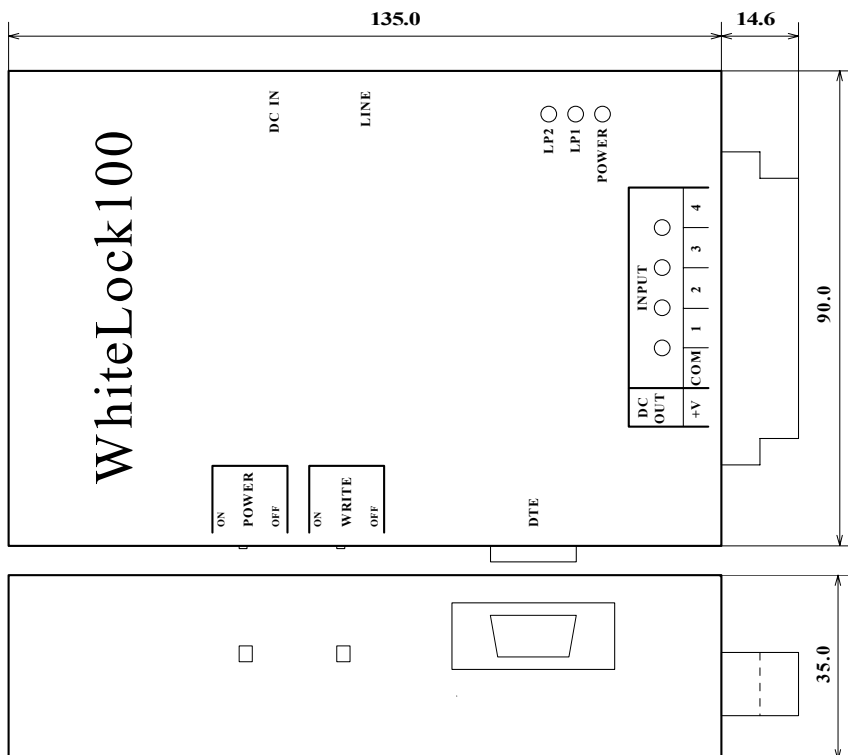
ピン記号	信号
1	CD
2	RD
3	TD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	RI

ピン番号は製品本体側を示す

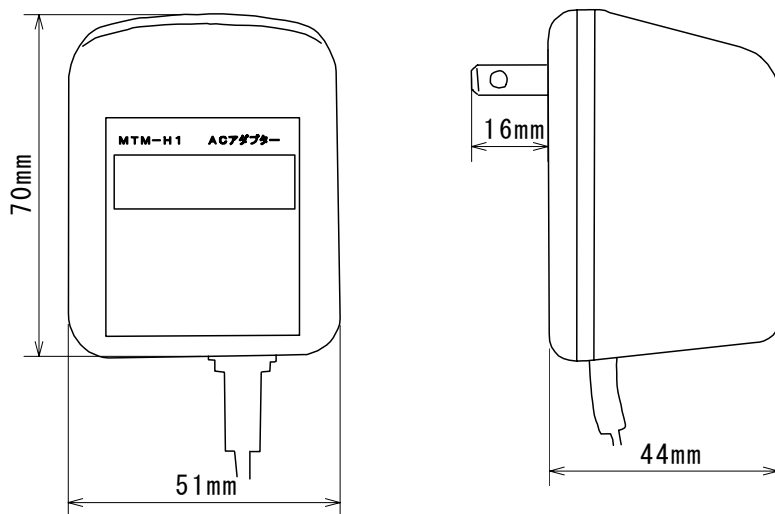


設定に使用するパソコンが、このコネクタを装備していない機種の場合（PC-9800シリーズ等）は、別途変換コネクタ(D-SUB25ピン → D-SUB9ピン)をお買い求め下さい。

外形図



付属のACアダプター



付録

受信装置に表示できる文字

本製品がクイックキャストに送信できる文字は、以下の通りです。

ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	—	/
マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&		Tel	
ヤ	(	ユ	)	ヨ			空白	ハートマーク	
ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
リ	ヲ	ン	"	"	6	7	8	9	0

* Tel マークは、MS-IME を使用して、全角で ”でんわ” と入力して変換した文字です。

* ハートマーク は、* で代替えています。ハートマークを表示させる時は、* を入力して下さい。

更新履歴

2005 年 3 月 31 日 Ver 5.8

住所を変更。

2004 年 10 月 13 日 Ver 5.7

例として載せていた電話番号をXXXに変更した。

2004 年 3 月 22 日 Ver 5.6

仕様に動作電圧と消費電流を追加。

2003 年 12 月 19 日 Ver 5.5

「Q&A」を更新。

携帯電話機の充電について追加。

2003 年 10 月 6 日 Ver 5.4

「Q&A」を更新。

「複数の通報先を設定するとき」に「注意事項」を追加。

充電池への充電時間を 72 時間に変更。

「停電保証について」を更新。

2003 年 7 月 10 日 Ver 5.3

「はじめに」と「仕様」を更新。

2003 年 3 月 6 日 Ver 5.2

ニッカド充電池についての説明を追加。

図を更新した。

2003 年 1 月 22 日 Ver 5.1

Q&Aを修正。

「停電保証について」を修正。

ACアダプターの寸法を追加。

停電保障充電池と名称を統一。

2002 年 10 月 3 日 Ver 5.0

Q&Aを修正。

2002 年 9 月 12 日 Ver 4.9

「付属の設定ソフト」と書いてあったのを修正。

2002 年 7 月 30 日 Ver 4.8

設定ソフトが同梱となっていたのを修正。

Q&Aへの追加。

2002 年 6 月 27 日 Ver 4.7

携帯電話機の充電について追加。

2002 年 6 月 17 日 Ver 4.7

「通報時に使用するタイマー」の項目を追加。

White Lock 100 New

本書 Ver 5.8

取扱説明書

改定 2005年 3月

発行元 株式会社 アドコン

<http://www.adocon.co.jp/>

本社 TEL (0852) 54-2036 FAX (0852) 54-2196
〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24

東京営業所 TEL/FAX (03) 3784-1421
〒142-0053 東京都品川区中延 5-7-16